

# 8月臨時教育委員会会議録

## 公開案件

開催日時	令和6年8月6日(火) 午後1時から	
開催場所	奈良市役所 中央棟地下1階 B1会議室	
出席者	委員	北谷教育長、柳澤委員、梅田委員、川村委員、新井委員 【計5人出席】
	事務局	小林課長補佐、荒谷
	理事者	【教育委員会】 垣見教育部長、土田教育政策課長、牧野学校教育課長、伊東選定委員長、小林選定委員長、西村学校教育課長補佐、中西学校教育課指導係長、北村指導主事、岡田指導主事、三木指導主事、西田指導主事
開催形態	公開(傍聴者25名)	
議題	<p>1 議案</p> <p>議案第19号 令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択について</p> <p>議案第20号 令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書の採択について</p> <p>議案第21号 令和7～10年度使用奈良市立一条高等学校附属中学校教科用図書の採択について</p>	
決定取り纏め事項	<p>1 議案</p> <p>議案第19号 令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択については、可決した。</p> <p>議案第20号 令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書の採択については、可決した。</p> <p>議案第21号 令和7～10年度使用奈良市立一条高等学校附属中学校教科用図書の採択については、可決した。</p>	
担当課	教育政策課	
<b>議事の内容</b>		
教 育 長	皆さん、お揃いでしょうか。	

教 育 部 長	<p>教育長。本日、教科用図書採択における補助者として、学校教育課より西村課長補佐、中西係長、北村、岡田、三木、西田の6名を出席させたいと思います。また、選定委員長として、一条高等学校伊東校長、伏見中学校小林校長を出席させたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教 育 長	<p>分かりました。補助者及び選定委員長の出席を許可しますので、入室してください。</p> <p>本日の委員会は委員全員が出席しており、委員会は成立します。ただいまから、8月臨時教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、私と梅田委員でお願いいたします。</p> <p>案件に入る前に、25名の方から傍聴の申し出があり、傍聴規則第2条及び第3条の規定に基づきまして、25名の方に傍聴券を交付いたしましたのでご報告申し上げます。</p> <p>それでは、傍聴人の入室準備が整うまで、一旦議事を中断いたします。</p>
教 育 長	<p>それでは、入室準備が整ったようですので、議事を再開します。傍聴人の方を傍聴席へご案内願います。</p> <p>それでは、本日の案件に入ります。本日の案件は、議案3件です。なお、関係部課長のみの出席といたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議案第19号「令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択について」の審議を行います。まず、奈良市立高等学校教科用図書選定委員会の構成及び選定の経過について、学校教育課長より説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>それでは、ご説明をさせていただきます。奈良市立一条高等学校の教科用図書採択におきましては、5月30日に「奈良市教科用図書選定委員会規則」に基づき、教科用図書の採択を適正かつ公正に行うため、奈良市立高等学校教科用図書選定委員会及び研究部会を設置いたしました。</p> <p>教科用図書選定委員会は、一条高等学校から校長、教頭と、一条高等学校附属中学校副校長、また教諭10名と保護者組織の代表2名、教育委員会事務局から学校教育課長、学校教育課長補佐、指導係長、高等学校担当指導主事4名が加わり、合計20名で構成されました。また、教科用図書選定委員会研究部会は、一条高等学校及び一条高等学校附属中学校の教諭並びに講師の延べ68名で編成され、9つの部会に分かれて調査研究を行いました。そして、各研究部会が調査研究した結果とともに、採択を希望する教科用図書を選定委員会に報告いたしました。</p> <p>選定委員会では6月28日に、各研究部会の調査研究結果をもとに研究結果報告資料を作成し、7月8日、伊東選定委員長より教育委員の皆様へ報告いただきました。</p>

奈良市立高等学校教科用図書選定委員会の構成及び選定の経過についてのご説明は以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、本日の審議の進め方について確認をさせていただきます。選定委員会で作成いただいた資料の報告内容及び新規採択の教科用図書について、選定委員長から説明をいただき、審議の後に採択を行うことといたします。委員の皆様には、教育委員会の権限と責任のもと、慎重かつ厳正に採択をいただきますよう、お願いいたします。

また、市立高等学校の教科用図書の採択におきましては、高等学校で使用する教科用図書は専門性が高いこと、また、日頃より生徒を指導している教員が生徒の実態を最も把握しているということに鑑み、教育委員会の教育委員の方々には、個々の教科用図書の研究をしていただくのではなく、その過程をご審議いただくこととなっております。

審議に入る前に、まず、教科用図書の採択に当たり、各研究部会での研究経過並びに研究結果報告資料について、伊東選定委員長から説明をお願いします。

伊東選定委員長

奈良市立教科用図書選定委員会規則に基づき、5月30日に開催いたしました第1回選定委員会より、令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書採択の基本方針に則り、教科用図書採択のための資料作成に当たってまいりました。

使用する教科用図書の数や、採択替えをする教科用図書があるかないかなどによって研究部会の開催の程度に違いはございますが、各研究部会とも、基本方針に則って教科用図書の検討及び調査研究を行い、報告書を作成しております。

基本方針の3にありますように、現在使用している教科用図書が高等学校用教科書目録に登載されていない場合は、新規に採択することとなり、登載されている場合は、原則として継続して採択することとなります。令和7年度につきましては、学科再編に伴い外国語科の募集を停止することから、令和7年度に入学した生徒が使用する教科用図書につきまして、新規採択の必要性を検討いたしました。令和7年度使用教科書目録への登載状況を確認しながら、各研究部会で検討した結果、今年度は1教科2科目の教科用図書につきまして、新規採択のご審議をお願いすることとなりました。なお、令和5年度以降の入学生が現在使用しております教科用図書につきましては、令和7年度使用高等学校用教科書目録に登載されていない場合は、新規に採択をすることになりますが、登載されている場合は、原則として継続採択となります。

新規で採択を希望する教科用図書についての調査研究の観点といたしまして、

ア 構成・配列及び分量

- イ 内容・程度
- ウ 表記、表現及び印刷等
- エ 題材の選択及び扱い

の4観点に基づき、各科目3冊を選定し、それについて比較検討を行いました。

各研究部会の研究内容と経過及び新規に採択を希望する科目につきましては、資料のとおりでございます。

教 育 長

ありがとうございました。

伊東選定委員長より、各研究部会での研究経過並びに報告資料について説明をいただきましたが、このことに関してご意見、ご質問はございませんでしょうか。

川 村 委 員

教科用図書採択に当たっては、公正確保の徹底に万全を期すことが求められます。一条高等学校の教科用図書選定委員会及び各研究部会では、具体的にどのような点に注意しながら研究を進めてこられましたか。

教 育 長

それでは、伊東選定委員長、お願いいたします。

伊東選定委員長

お答えさせていただきます。まず、「教科書採択における公正確保の徹底について」等、文部科学省からの通知内容について周知を図りました。そして、見本本を届けに来校する教科用図書発行者の担当者と選定委員、研究部員が一切会わないようにするなど、関係者との関わりを持たないことを徹底しております。

また、教科用図書の編集や、いわゆる白表紙本を閲覧したことがないことを確認する申告書の提出を求め、選定委員、研究部員全てから、教科用図書発行者との関わりが一切ないとの確認を取った上で、選定委員、研究部員に推薦しております。

教 育 長

川村委員、いかがでしょうか。

川 村 委 員

ありがとうございます。公正確保について徹底を図られていること、理解いたしました。

教 育 長

それでは、ほかの委員からのご意見、ご質問はございませんでしょうか。

新 井 委 員

教科用図書研究の過程を審議する上では、研究報告書の内容が適切であるかの検討が必要ですが、選定委員会から提出された報告書については、そこに記された研究結果の報告内容は、基本方針に基づき、各

教科において綿密に調査研究が行われております。したがって、十分に適切な資料であると考えます。

教 育 長           ありがとうございます。ただいま新井委員より、高等学校の研究報告書等の選定委員会からの報告があった資料につきましては、教科用図書採択に関わる審議において、適正で十分に信頼のおける資料であるとのご意見をいただきましたが、ご異議ございませんでしょうか。

各 委 員           異議なし。

教 育 長           それではこれより、高等学校の教科用図書採択のための審議に入ります。お手元の選定委員会から提出された資料をご覧ください。令和7年度使用教科用図書につきまして、伊東選定委員長より説明願います。

伊東選定委員長   先ほど申し上げましたことと重複する部分もございますが、今回、令和7年度使用高等学校用教科書目録への登載状況を確認しながら、各研究部会で新規採択かあるいは継続採択かを検討し、特に、令和7年度につきましては、学科再編に伴い外国語科の募集を停止することから、令和7年度に入学した生徒が使用する教科用図書につきまして、新規採択の必要性を検討いたしました。

新規に採択を希望する科目につきましては、「選定委員会における新規に採択を希望する教科用図書の研究結果と希望する理由」にて教科用図書の研究の結果を報告しているとおりでございます。

なお、継続採択を希望する教科用図書につきましては、議案資料1ページから3ページにございます「令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書選定一覧」に記しております。

教 育 長           ありがとうございます。それでは新規採択の科目につきまして審議を行ってまいりますので、ご意見をいただきたいと思います。まず、私の方から委員長に確認させていただきたいと思っております。

一条高等学校におきましては、来年度の新生より学科再編を行い、外国語科の取組を発展的に普通科に展開していくという認識ですが、どのように展開していくのか、具体的なご説明をお願いしたいと思います。

伊東選定委員長   一条高等学校におきましては、令和7年度より、外国語科の取組を発展的に普通科に展開する形で学科を普通科に再編いたします。一条高等学校が、74年の歴史を重ねてきた外国語科の中で培ってきた英語教育の取組は、実践で使える英語の習得を目指し、普通科も含めて実施しており、これまでも、本校の特色ある教育の一つとして位置付けてきております。

特色ある取組といたしましては、教員免許を持った外国人による英語の授業や第二外国語の履修があり、一条ならではの実践的な授業を通して、世界を舞台に議論できる英語力を養うことに取り組んできております。今後は、探究的な学習を学校全体に広げたように、外国語科の取組をさらに学校全体の教育として発展させていくことを目指して、来年度より、外国語科の生徒が現在学んでいる外国語科ならではの要素を、発展的に普通科に展開する新しい教育課程を編成してまいります。

具体的には、令和7年度入学生の教育課程における、2年生での「英語コミュニケーションⅡ」、3年生での「英語コミュニケーションⅢ」の科目におきまして、外国人教員が受け持つ授業も実施し、多様な言語活動を通して、生徒のコミュニケーションを図る資質・能力の総合的な育成を図ってまいります。

また、学校設定科目として、2年生での選択科目では「第二外国語」、また、3年生では「第二外国語」と「異文化理解」を設定し、生徒の興味・関心に応じてより専門的な学習を深められるようにするなど、普通科において、より充実した「一条の英語教育」を展開していくことを考えております。このように、探究的な学びと合わせ、学校全体で英語をツールとした学びを深めることを目指したいと考えており、この学科再編によって、生徒が語学力を生かして、日本だけではなく世界的な視点で探究を深める力を身に付けることで、生徒一人一人の可能性をより一層広げることができると考えております。

この度の教科用図書採択に際しましては、以上の内容等を踏まえて調査研究を重ね、新規採択を希望する教科用図書として報告させていただいております。

教 育 長                    ありがとうございます。よく分かりました。  
ほかにご意見やご質問はございませんか。

梅 田 委 員                今お話もありました、外国語科のノウハウを発展的に普通科の中に取り組み上での今回の新規採択の希望であると思っておりますけれども、現在、中学校においては、学習指導要領を踏まえて、言語活動を充実させた授業を進めていることを前提に、高等学校でより一歩リードした学習の形態について考えていくことがやはり必要ではないかと考えます。  
中学校からの接続を考えたときに、そのことを加味して研究を進める上でのお考えについて、ご説明いただければと思います。

教 育 長                    伊東選定委員長、いかがでしょうか。

伊東選定委員長            現在、附属中学校の英語の授業では、教科用図書に加えまして、補助教材などを活用しながら、表現やディスカッションの授業を多く取り入れており、スピーキング力を高める取組をしております。教科用図書に

	<p>おきまして、高等学校までを見通し、中学校と高等学校との学びをいかにスムーズにつなげていくかという視点を持ちながら研究を進めてまいりました。</p> <p>中学校、高等学校ともに、実践的な授業で身に付ける英語力と国際感覚を磨き、世界を舞台に活躍できる「英語力」を養い、1300年の歴史を持つ奈良からグローバルに活躍できる発信力を持つ生徒を育成することを目指して、これまで一条が積み重ねてきた外国語教育の歴史と伝統を守り、さらに発展させていきたいと考えております。</p>
教 育 長	梅田委員、いかがでしょうか。
梅 田 委 員	ありがとうございました。中学校と高校との学びの円滑な接続を考えるとということと、高校での学びを見通し6年間を通じて、世界を舞台に活躍できる実践的な英語力の育成を図って採択の研究に臨んでいただいたということが、よく分かりました。
教 育 長	ありがとうございます。ほかにご意見やご質問はございませんか。
柳 澤 委 員	選定委員長からもありましたが、基本方針には、現在使用している教科用図書が高等学校用教科書目録に登載されている場合は、一度採択すると、原則4年間使用するとあるが、これまで例外はあったのか、また、どういった場合、原則を外すことができるのか、教えてください。
教 育 長	この点については、事務局、いかがでしょうか。
学校教育課長	これまでも前例がございまして、例えば、教育課程の変更に伴う場合や、新たに目録に登載された教科用図書と改めて比較検討した場合などにおきまして、新規採択が望ましいと判断された際に、原則を外して採択替えを行ったことがございます。
教 育 長	柳澤委員、いかがでしょうか。
柳 澤 委 員	ありがとうございます。よく分かりました。
教 育 長	ほかにご質問ございませんでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは採択に移らせていただきます。1教科2科目の教科用図書につきまして、選定委員会からご提示いただきました教科用図書を新規に採択することにご異議ございませんか。
各 委 員	異議なし。

教 育 長	<p>異議なしと認めます。新規採択希望の1教科2科目の教科用図書の審議は以上になります。</p> <p>続きまして、議案資料1ページから3ページにあります、様式4「令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書選定一覧」をご覧ください。新規・継続の欄に、『継続』と記しております教科用図書は、各科目において本年度と同一の教科用図書を使用するものであります。</p> <p>「令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書採択の基本方針」3には、「一度採択された教科用図書が『高等学校教科用図書目録』に登載されている間は、原則として4年間継続して採択するものとする。」とされていること、並びに、一条高等学校の教育理念に基づき、現行の教科用図書を使用することによって教育成果が認められることから、継続採択について特段の問題はないと考えますが、現在使用している教科用図書を継続して採択することにご異議ございませんでしょうか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>
教 育 長	<p>異議なしと認めます。以上のように、新規採択、継続採択を議決いたしました。</p> <p>これもちまして、令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択についての審議を終了いたします。</p> <p>伊東選定委員長につきましては、約2か月間にわたっての調査研究及び本日はその結果についてご報告いただき、ありがとうございました。</p> <p>以上もちまして、「令和7年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。</p> <p>引き続き、議事を継続いたします。それでは、議案第20号「令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書の採択について」の審議を行います。まず、奈良市立中学校教科用図書選定委員会及び選定の経過について、学校教育課長から説明願います。</p>
学校教育課長	<p>それでは、ご説明申し上げます。奈良市立中学校教科用図書の採択におきましては、「奈良市教科用図書選定委員会規則」に基づき、教科用図書の採択を適正かつ公正に行うため、奈良市立中学校教科用図書選定委員会及び研究部会を設置いたしました。</p> <p>選定委員会は、校長、教頭、また、教諭合わせて10名の教員と、保護者組織の代表2名の計12名で、研究部会は36名の教員で構成されております。</p> <p>なお、文部科学省発行の令和7年度使用中学校用教科書目録に登載された中で、各発行者から送付されてきたものは、22者71種目142点となっております。研究部会では、その教科用図書見本の全てについて調査研究を行い、研究結果報告書を作成して選定委員会に報告をいたしました。</p>

選定委員会におきましては、各研究部会の報告や奈良県教育委員会が作成しました選定資料をもとに、研究結果報告書を作成していただきました。7月8日には、小林選定委員長より調査結果について報告していただいた上で、各教育委員の皆様方に本日まで調査研究を進めていただくとともに、議論を深めていただいております。本日は審議資料といたしまして、教科用図書見本本を準備させていただきます。

なお、各者の教科用図書に掲載されているQRコードにつきましては、生徒の一人1台端末の活用を推進する上で有効に働くと考えておりますが、QRコードの先の内容につきましては、今回の調査研究段階から今後も適時更新される可能性もあることから、内容についての調査研究ではなく、奈良市教育振興基本計画でございます「ICTを活用した学び」につながるようなQRコードの配置等がなされているかや、生徒が使いやすいよう工夫されているかという視点で調査研究を進めていますことを申し添えさせていただきます。

教 育 長 では次に、奈良市立中学校教科用図書選定委員会において調査研究いただいた具体的な観点について報告をいただきます。

それでは小林選定委員長、お願いします。

小林選定委員長 それでは、選定委員会での調査研究の具体的な観点について報告いたします。

調査研究に当たっては、教育基本法に定める目的及び理念、学校教育法に定める教育の目標を踏まえ、学習指導要領に定める教科の目標を達成するよう、また、奈良市教育大綱及び奈良市教育振興基本計画の趣旨を尊重し、これから申します5つの観点に基づき、調査研究を行いました。

- ア 資質・能力の育成の視点
- イ 奈良市教育振興基本計画との関連
- ウ 題材の選択及び扱い
- エ 編集の工夫
- オ 使用上の便宜

その他、これら5つの観点以外にも、教科の特性に応じて多様な観点や視点から調査研究を行いました。QRコードにつきましては先ほど事務局からもありました通り、その内容ではなく、活用しやすい配置であるかなど、授業において学習者や指導者が扱いやすいかという視点で研究をしております。

教 育 長 ありがとうございます。

ただいま選定委員長より、選定委員会での調査研究の具体的な観点についてご報告をいただきましたが、何かご意見やご質問はございませんでしょうか。

それでは、ないようでしたら、これから種目ごとの審議に入りたいと思います。

審議の前に一言を申し上げておきます。教育委員会では、教科用図書の採択に関しましては、奈良市の、子どもたちに付けていきたいと考えている力を、教える側の教員が子どもたちにしっかりと付けていくことができる教科用図書を選ぶことが重要であると考えております。今回の教科用図書の採択に当たりましては、選定委員会をはじめ、研究部会及び全ての市立中学校において、教科用図書の調査研究を行っております。また、各教育委員も、全ての教科用図書について調査研究を行っております。採択に向けた審議につきましては、それら調査研究の結果を踏まえ、総合的に判断していきたいと考えております。

なお、審議の進め方は、まず、種目ごとに選定委員長から、選定委員会での各種目、全ての発行者の調査研究結果について報告していただきたいと思います。その後、私たち教育委員で審議し、本市の教育に最も適していると思われる教科用図書を採択するという手順で進めてまいりたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

各 委 員 異議なし。

教 育 長 それでは、その手順に従って進めてまいりたいと思います。

それでは、国語の教科用図書の審議に移ります。

まず、選定委員長より、選定委員会の報告をいただきます。選定委員長の報告の後に、主にご担当いただきました各委員より、特に特徴的であり、本市の教育に適していると考えられる発行者についてご報告をいただきたいと思います。

では、小林選定委員長より、お願いいたします。

小林選定委員長 まず、国語について報告いたします。国語については4者の教科用図書の調査研究を行いました。

東京書籍では、各学年ともに巻頭の「未来への扉」において、国語の学習を通して未来を考える手がかりとするため、現代社会に関する9つのテーマを設定し、様々な視点から思考を展開できるように編集されています。また、1年227ページのまとめにあるように、各単元がどのテーマに沿ったものかが明記されており、社会に向き合う態度の醸成に向けた、協働的で探究的な学びを展開するのに適しています。図や表も整理された構成であり、他教科との関連を分かりやすく示していることに加え、デジタルコンテンツの利用など、端末活用を前提とした作りになっていることが特徴的です。

次に、三省堂です。1年16～20ページにあるように、比較、分類、具体化、抽象化など「思考の方法」をまとめて図解で分かりやすく示すとともに、34、54ページなどにあるように、各教材文の次のページにあ

る「学びの道しるべ」の中に、その教材文を使用した学習の際に使用できる「思考の方法」を具体的に例として示し、学習活動の中で生徒が思考を深められるよう工夫が見られます。さらに、「読み方を学ぼう」とし、78 ページでは「人物相関図」、86 ページでは「行動描写」など、文章の読み解き方、理解を深める方法を多角的に示しています。

教育出版は、国語の学習を通して日常生活への関連を意識することができるよう、各学年において「持続可能な開発目標【SDGs】」と教材の関係を、「言葉の地図」として図示しています。1年 80～89 ページでは、生徒が社会や日常生活の中の多様な課題に対して自ら考えを持ち、いかに行動するかを深めることができるよう工夫が見られます。また、80 ページには、関連資料を参照することを促すよう、QR コードが豊富に示されています。

光村図書出版では、1年 28 ページにあるように、学習の流れを示す「学びへの扉」のページを設定しており、学習活動について見通しを持たせ、「学びのカギ」として学習のポイントや前後の学習とのつながりを確認められるようにするなど、生徒の主体的な学びをサポートするような工夫が見られます。また、1年 276 ページにあるように、巻末には「学びのカギ」を一覧化し、1年間で「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域別に学ぶことをまとめており、生徒が主体的に学び、学習を深めるための支援を丁寧に行っています。また、3年間を通して、1年 78 ページにあるように「情報×SDGs」と題し、情報活用能力を養う教材を設定しているとともに、1年 6 ページにあるように、各教材と SDGs における達成すべき 17 項目との関連を表でまとめており、生徒が教材に向かうとき常に関連を意識して学習を進めることができるよう工夫されていると考えます。また、巻末に掲載されている、見開き 1 ページの「ICT 活用のヒント」を活用することで、学習者の主体的な ICT 活用力の向上につなげられるような工夫がなされていると考えます。加えて、紙質は黄色味がかかっており反射が少ないため、見やすい教科書であると思います。

以上が国語についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは続きまして、主に国語を担当いただきました川村委員からご報告をお願いしたいと思います。

川 村 委 員

私が調査研究した点について報告いたします。4者とも、1年生では「少年の日の思い出」、2年生では「走れメロス」、3年生では、「故郷」など、共通した題材が複数あって、それぞれが特色を出して編集されています。また、以前から掲載されている題材に加えて、今活躍する作家の作品も題材として取り扱うことで、生徒たちに親しみやすく取り組ませる工夫もされている中で、特に特徴的だと判断した、東京書籍と

光村図書出版について報告いたします。

東京書籍は、選定委員長の報告にもありましたが、巻頭に「未来への扉」として見開き2ページを使った折り込み紙面として全学年に設定され、国語を絡めて未来を考えていく工夫が凝らされていると感じました。また、その裏面には、デジタルコンテンツの使い方が記載され、端末を活用した取組が期待できます。1年16ページの「朗読の世界」では、声に出して読むことの楽しさを伝えた上で言葉の学習を始めることを意識させるなど、1年生の導入部分で主体的に取り組めるような題材が設定されているとともに、この題材では小学校と同じ文字の大きさにすることで、小中の連携や円滑な接続を意識していることが感じ取れます。また、1年78ページの「平和のバトン」では、高校生の活躍を文中から中学生が学ぶことができます。このような点は、本者の特徴であると感じています。読書活動の推進として「読書への招待」「世界を広げる本」「夏休みにおすすめの本」など、様々なコーナーで多くの本を紹介し、中学生が本を手にするための良い提起であるとも感じています。3年34ページの「形(かたち)」では、古典作品が新しい作品に変わっていくことや、生まれ変わった作品が41ページで紹介されています。着眼点として面白く、生徒にとって、小説を楽しむ際の参考になるのではと期待されます。1年162ページ「ニュースの見方を考えよう」では、生徒が現在、情報に溢れる世界でどのように意見を持つかについて考えさせる題材であると感じました。

続きまして、光村図書出版です。1年16ページ「のはらうた」は、小学校で学習した題材であり、声に出して読むという設定からも、生徒には親しみやすいと感じました。1年22ページ「はじまりの風」は主人公の中学生に自分を重ねやすく、現代作家の身近な題材が全学年にバランス良く掲載されていることも特徴的だと感じています。2年84ページ「読書を楽しむ」では、1冊の本を複数の翻訳者の観点から読み解くことで生まれる変化を紹介していて興味深く感じました。選定委員長の報告にもありましたが、単元ごとに目標がはっきりと示されていることに加え、「情報とSDGs」というページが3学年にそれぞれテーマを決めて配置されていることも特徴の一つです。本者も「本はいつもそばに」のコーナーで、中学生が主人公の小説や中学校の時間割に沿った本を紹介するなど、生徒が本の世界を広げる上で道しるべとなるような工夫が感じられました。3年166ページ「つながる古典」には作品と時代との関連性が示されていて分かりやすく、さらには高校の古典へのつながりも意識できるような工夫がされていて、小中の連携だけではなく、中高の連携も意識して構成されていると感じました。また、本者は「語彙ブック」というものを登載していて、生徒が自分の思いや考えに当てはまる表現を探したいときに使用することで言葉を知ることへの発展につながって、好感が持てる良い工夫だと感じます。

私からは以上です。

教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>東京書籍と光村図書出版ということで川村委員からご報告をいただきましたが、各委員からのご質問、ご意見はございませんでしょうか。</p>
柳 澤 委 員	<p>内容というよりは、むしろ見え方なんですけれども、国語の教科書は基本的には縦書きだと思いますが、現在はインターネットの利活用も進み、その中では横書き文化に移行していますので、少しでも教材のどこかに横書きを入れても良いかと思うんです。横書きの随筆やエッセイを教材で扱っているところはあるのでしょうか。</p>
教 育 長	<p>川村委員、お願いします。</p>
川 村 委 員	<p>両者とも横書きで記載している箇所はあります。特に光村図書出版では、3年264～266ページの「グラフの見方」や「話し合いの方法」という題材は横書きで記載されています。</p>
教 育 長	<p>柳澤委員、いかがでしょうか。</p>
柳 澤 委 員	<p>ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>ほかにご意見等ございませんでしょうか。</p>
梅 田 委 員	<p>現在、どの教科においても求められているのが言語活動の充実ですが、そのベースは国語の教科で養うものであるという観点や、情報の活用については、光村図書出版ではどの学年においても6ページで一覧になっており、学習の見通しが持てるようになってはいますが、東京書籍でも同じように表しているところはあるのでしょうか。</p>
教 育 長	<p>川村委員、いかがでしょうか。</p>
川 村 委 員	<p>東京書籍も同様に、3年6ページのように領域別に教材一覧を掲載しており、見通しを持って学習を進められるよう工夫されていると感じますが、中身を見させていただくと、光村図書出版の方がその説明が具体的で、より丁寧であると感じました。</p>
教 育 長	<p>梅田委員、いかがでしょうか。</p>
梅 田 委 員	<p>ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>私からも川村委員にお伺いしたいのですが、両者とも「竹取物語」を掲載していると思いますが、現代語訳の配置に違いがあると思います</p>

ます。この点について、いかがでしょうか。

川 村 委 員

まず、東京書籍では現代語訳をページの下の部分に配置されていて、光村図書出版では、文章の横に沿える形で配置されています。このことは、教える側の教員と学ぶ側の生徒それぞれにとってとらえ方は様々だとは思いますが、初めて古典の現代語訳に触れる生徒のことを考えると、横に添えた配置の方が流れを掴みやすいのではないかと感じております。

教 育 長

ありがとうございます。

ほかにご意見等ございませんでしょうか。

それでは、国語の採択をしたいと思います。

いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員の意見を伺っておりますと、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組みながら資質・能力を育成することができるよう工夫されているという点で評価が高かった「光村図書出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。それでは、国語は「光村図書出版」とさせていただきます。

続いて、書写の教科用図書採択の審議を行います。では、小林選定委員長、お願いします。

小林選定委員長

では、書写についての報告をさせていただきます。書写については4者の調査研究を行いました。

まずは、東京書籍です。58ページに奈良の伝統工芸や正倉院宝物にある文房四宝に関する内容の掲載があり、本市との関連に特徴があります。また、見開きにあるように「文字を書く」というのはどういうことなのかを様々な場面を想定して、文字を書く意味を考えることを、大切にした教科書の構成になっていることが特徴的です。

三省堂では、68～71ページのように、身近なところにある文字や、デザイナーの文字を紹介することで、書写の学びを通して将来どのように文字を活かしていくのかが感じられる構成になっています。また、各単元の初めに設けられた「書き方を学ぼう」では、生徒の主体的な学びを導く工夫がされている点が特徴的です。

教育出版は、24ページのコラムが示すように、学習の興味・関心を促すための工夫や活用が特徴的です。36ページの文字の変遷のように、高校への学習につながるような発展的な課題が設定されているのも特徴の一つと挙げられます。

最後に、光村図書出版です。104 ページにあるように、著名人の手書き文字を取り上げ、手書きの良さや文字の温かさを様々な角度から考えることができるよう工夫されています。また、90 ページの史跡の文字や104 ページの作家の文字の提示など、文字を多面的にとらえ、特徴的な文字の味を鑑賞することで、ただ単に美しい文字だけではなく、面白さを伝えているのが特徴です。

報告は以上です。

教 育 長

ありがとうございます。

続きまして、主に書写を担当いただきました川村委員から、引き続きご報告をよろしく申し上げます。

川 村 委 員

各者とも、文字を正しく整えて書くことができるよう分かりやすく示されているとともに、書写の能力を学習や日々の生活に役立て、上手に使えるようにできるよう配慮されていると感じています。また、QR コードを活用して、筆の動きを動画で確認することができるようにするなど、ICT を活用した学びについてもそれぞれ工夫が見られました。その中でも、特に特徴的であると考えられる2者について報告いたします。

まずは、東京書籍です。「はじめに」というコーナーで、小学校で学んできたこと、それを見やすく記載しているところがとても特徴的です。また、10 ページのように筆の運び方が非常に見やすく、生徒たちにとっても筆運びの理解が深まると受け止めています。14 ページにありますように、紙面の上部にお手本を置くことで、実際に書くときに見やすく、左利きや支援の必要な生徒への配慮も感じました。選定委員長の報告にもありましたが、58 ページには、奈良墨、奈良筆の記載もあって、本市の生徒が誇りに思えるものを取り上げていただいていることも特徴的です。

続いて、光村図書出版です。取り外しが可能な書写ブックが付属しています。これは硬筆練習帳として非常に使い勝手が良いのではないかと感じました。姿勢についての記載なども、生徒が視覚的に理解しやすい工夫がされていることも特徴的です。38 ページの「漢字を分解してみよう」や52 ページの「行書スイッチを入れよう」というコーナーでは、アニメーションも掲載されているようで、生徒にとって文字についての関心を高める、良い工夫だと受け止めました。毛筆のお手本が、半紙と同じサイズを光村図書出版さんは用意していて、授業の場面で、文字の大きさなどをイメージしやすいことも特徴と考えます。

報告は以上です。

教 育 長

ありがとうございます。

東京書籍と光村図書出版ということで川村委員から報告をいただきましたが、各委員からのご質問やご意見はございませんでしょうか。

梅田委員	<p>書写の特性上、中学校という発達段階の生徒が、文字を書くことに対して納得感を持って臨むことがより学習効果を上げるのではないかと考えますけれども、東京書籍においては、巻頭の見開きで「文字を書くってなんだろう」というコーナーを設けて、生徒たちに考えさせるという工夫があるとご報告にありました。一方光村図書出版は、ご報告にもありましたように、38 ページに「漢字を分解してみよう」というコーナーを設けて、漢字を分解して構造をとらえさせる工夫をすることで、漢字を書くことが苦手な生徒に対する合理的な配慮がなされているように感じます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私からも少し感じたことを申し上げますと、川村委員のご報告にありましたが、光村図書出版は視覚的にも紙面上の構成上にも、あらゆる配慮がなされていると感じます。また、取外し可能な書写ブックは、確かに実習の際重宝できるのではないかと私自身は感じたところです。</p> <p>ほかにご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、書写の採択を行いたいと思います。</p> <p>いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員の意見を総合いたしますと、様々な生徒が使用する上でより視覚的にも分かりやすく、また、細部にわたり丁寧な配慮を施しているという点では、「光村図書出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>
教 育 長	<p>異議なしと認めます。それでは、書写は「光村図書出版」とさせていただきます。</p> <p>続きまして、社会【地理的分野】の審議を行います。小林選定委員長、お願いします。</p>
小林選定委員長	<p>社会科の地理的分野は4者についてです。</p> <p>まずは、東京書籍です。20 ページの各章のまとめや資料活用の中で、生徒が主体的・協働的に取り組めるような探究課題が設定されています。また、「みんなでチャレンジ」の項目では、協働的な学びが順序良く進められるよう手順が示されています。様々なチャートを提示することで、思考・判断・表現力を育成する題材が用意されています。また、36 ページの中央のように、各項ごとにQRコードが掲載されており、コードの下に内容を表記することで、生徒が端末を利用した学びを進める上で活用しやすい配慮であると感じます。</p> <p>続いて、教育出版です。6 ページのように、基本的にその日の授業内容が見開き2 ページで学べるよう工夫されています。学習を通して、右</p>

ページにある「確認」と「表現」で学ぶべきポイントが示されており、生徒はその課題を意識して主体的に学ぶことができる構成となっています。QR コードは項ごとに掲載されていますが、基本的に各章の扉のページに配置されており、端末活用においては、各ページなど必要な場所に配置しておく方が良いのではないかと感じます。

帝国書院は、90 ページにあるように、「アクティブ地理 AL」という探究的な学びのページが複数設定されており、テーマに工夫が見られ、自分の意見をまとめたり他者と意見を交換したりしながら、学びを深めるための工夫があります。また、本文中の情報量が豊富で詳しいのですが、文字数が多く、生徒にとっては少し負担となるかもしれないと感じます。QR コードの配置については先ほども申し上げましたが、各項目ごとに細かく配置した方が、毎授業時に活用しやすいのではないかと考えられます。

最後に、日本文教出版です。93 ページの右下にあるように、「確認」では本文中から答えを探し、「表現」では白地図にまとめるなど、より一層踏み込んだ課題が設定され、生徒が自ら学びを進めやすいよう工夫しているのが特徴的です。また、教科書全体を通じて、多くの写真、地図、グラフ資料を見やすい大きさを提示し、生徒の興味・関心を引くよう工夫されていることに加え、232 ページのように、各章の「まとめと振り返り」において、思考を深める方法を各章ごとに変えながら紹介し、論理的に思考を深められるよう工夫しているのも大きな特徴です。

以上が社会【地理的分野】についての報告です。

教 育 長

ありがとうございます。

それでは続きまして、主に社会を担当いたしました私より報告いたします。

4つの発行者の地理的分野の教科書を見ていますと、それぞれが特色を打ち出し、生徒の興味を引き出しながら、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、主体的な学びにつながるよう工夫されていると思います。その上で、本市の教育、また、本市の子どもたちが使用するに当たり、より適切だと考えられる「東京書籍」と「日本文教出版」の2者について報告したいと思います。どちらの発行者も、紙とデジタルの学びが実現できるよう、各項の決まった場所にQRコードを配置して、迷わずいつでも端末を活用できるよう工夫するなど、誰にとっても使いやすい学びやすい教科書を作成しようとしている意図が感じられたところでもあります。

それではまず、東京書籍でございます。特質すべき特徴として、主体的な学びにつなげるための工夫があることが挙げられます。例えば、93 ページのアフリカ州を学ぶ章ですが、これから学習する内容を分かりやすく示すことで、見通しを持ちながら学習に取り組めるよう工夫をしています。また、続いて121 ページのように、探究的な課題を提示するだ

けではなく、対話の様子イラストを示すことによって、探究をどのように進めていくのかを分かりやすくしているところも、学習者への配慮を感じます。細かいところではありますが、各項のタイトルの部分にサブタイトルを付け、学習と実生活を結び付けようとしている箇所がいくつかあるのも特徴的です。例えば、172ページの「家の電気は、どこから来てる？」など、これからの学習をより自分ごととして取り組むことができるよう工夫されていると感じました。

次に、日本文教出版をご覧ください。巻頭の3ページに、地理的な見方・考え方を働かせることで物事の見え方が変わってくることを示し、そのことを各項を通じて、例えば16ページのテーマのところ、課題解決の手がかりとなる見方・考え方を明記し、生徒がより具体的に習得すべき知識や技能を把握できるよう工夫している点が大きな特徴であると考えています。

また各項に「確認」「表現」と取組を示し、1時間の学習の振り返りを行い、確実な理解を促す工夫も特筆すべき点であると思いました。

155ページの下部のように、生徒同士の話し合いなどの対話的な活動が効果的に取り入れられているものについて、「学び合い」マークを配し、示していることや、巻頭2ページや215ページのように、奈良市のことについて題材として取り上げているのも同者の特徴と言え、本市の生徒にとって親しみやすい教科書になると思います。

私からは以上でございます。

ただいま私から報告をいたしました。各委員からのご質問やご意見ございませんでしょうか。

柳澤委員

QRコードの下に、小さな字でも内容の説明があると、生徒さんには親切だと思いますけれども、実際の学校現場ではどのようになっていますか。

教育長

小林選定委員長、お願いできますか。

小林選定委員長

QRコードの下に小さくメモがあったら大変助かりますが、授業の流れの中でこのQRコードを、ここを見てごらん、ここを見てごらんということになると思いますので、授業者の補助の中で、補足できるものだと考えております。

教育長

柳澤委員、いかがでしょうか。

柳澤委員

説明書きがなければ、時間的にロスが生じるのではないかと思いましたが、担当の先生方で対応可能ということで、よく分かりました。ありがとうございました。

教 育 長	ほかにご意見等ございませんでしょうか。
梅 田 委 員	<p>社会という教科は自分自身が目的をもって行う探究的な活動を通して、資質・能力を身に付けていく教科であると考えたときに、東京書籍は学習課題を単元の標題の横に書いていますが、それぞれご報告にもありましたけれども、日本文教出版は、学習課題に加えて、見方、考え方として着目すべき点も書かれています。</p> <p>この点は大きな違いであるかと思います。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにご意見、ご質問ございませんでしょうか。</p>
川 村 委 員	改めて紙面を見て感じるのですが、日本文教出版は白いページが多いと感じ、東京書籍はそれに比べて淡いトーンの色調で構成していると感じました。選定委員会では、その辺りの意見等はあったのでしょうか。
教 育 長	その点、どうでしょうか。
小林選定委員長	研究の過程におきましては、その両者の差の指摘はありませんでした。
教 育 長	川村委員、いかがでしょうか。
川 村 委 員	分かりました。ありがとうございます。
教 育 長	他にご意見等ございませんでしょうか。
新 井 委 員	<p>先ほどもありましたが、QRコードは各項の最初に付いている形になっているので、そこはコメントが書いてあること自体あまり大きな違いにならないと思います。</p> <p>QRコードの内容については、採択の対象ではないのですが、教科書が発行されるまでの間に改良されていくものということで、コンテンツが編集できないPDF形式のものがあったので、書き込みや編集ができる、文書作成の機能が活用できるものであると非常に良いと思いますので、コメントとしてお伝えします。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、社会の地理的分野の採択を行います。</p> <p>いずれの発行者につきましても、工夫が見られましたが、生徒が主体的に学習を進めるための工夫を随所に巡らせ、また、本市の取組や文化</p>

財などを題材として取り入れている点などから、委員からのご意見も踏まえ、総合的に考えますと、「日本文教出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。

各 委 員 異議なし。

教 育 長 異議なしと認めます。それでは、社会【地理的分野】は、「日本文教出版」とさせていただきます。

続きまして、社会【歴史的分野】について審議を行います。

小林選定委員長、お願いします。

小林選定委員長 社会科の歴史的分野については、9者の研究を行いました。

まずは、東京書籍です。78ページのように写真や地図などの資料が大変豊富で、大きくて使いやすく資料から「時代」を読み取らせる工夫が随所に見られます。偶数ページに資料を大きく載せ、この時間に学ぶ内容を視覚的に理解しやすくする工夫があります。また、各項ごとにQRコードを掲載し、毎授業時にICTを活用した学びを進める上での使いやすさがあります。94ページのように、各章のまとめにおいて各種チャートを使って、生徒が主体的・協働的に取り組めるよう課題が設定されています。

教育出版は19ページにあるように、各章の始まりにQRコードを配置していますが、授業ごとの活用を促すためには、もう少し細かく配置する工夫があればより良いと感じます。29ページのように、各項右下に「確認」「表現」とあり、まとめたり説明したりする問いを設定し、思考を深めるねらいを感じます。ただし、歴史が苦手な生徒には少し答えづらいのではないかという感じがします。

帝国書院では、42ページのように、見開き2ページで構成しており、右ページに時代の流れが分かるような工夫がされています。一方、150～152ページのように、見開き2ページで資料を大きく掲示する構成ですが、ページが次項にまたがるのは、学習する上で少し扱いにくさを感じています。76、77ページなど、各章にある「アクティブ歴史AL」では、分野の見方・考え方を示し、主体的な学びと協働的・対話的な学びにつながるような題材の工夫が見られます。

山川出版社では、17ページのように細かな解説や発展的な内容も含まれるため、歴史が好きな生徒にとっては興味が高まるという良い面がありますが、そうでない生徒については難しさを感じるのではという懸念があります。内容的には解説等が細かく、資料集等はいらなくなるという側面もあると感じています。17ページ右下のように、各項ごとの振り返り課題を設定する工夫がありますが、応用的なものが多く、もう少し基本的な事柄を問う設定であれば活動しやすいと考えられます。

日本文教出版では、42、45、46、59ページに奈良県や奈良市の史跡を

扱った箇所や題材があり、比較的多く取り扱っていると感じます。このことは、本市の世界遺産学習とも親和性が高いのではと感じております。また、56 ページのように各項ごとに QR コードが掲載されており、毎授業時に ICT を活用した学びを進める上での使いやすさがあります。

自由社は、年表をページ下に記載していますが、もう少し見やすい工夫があると良いかと考えます。176 ページのように、欄外の用語解説は詳しく書かれていますが、文字が小さく、また、文字数が多いため、生徒が見づらく感じるのではないかという懸念があります。208 ページのように章末のまとめ学習では、復習問題等が設定されており、これまでの学習を確認できる工夫がありますが、協働的な学びにつながる課題設定等があれば、なお良いのではと感じます。

育鵬社は 121 ページのように、人物や出来事についての豊富なコラム「歴史ビュー」があり、歴史への興味や関心を育む工夫がされています。一方で 72、73 ページのように、紙面上に本文が凝縮されているように感じ、欄外の用語説明も詳細で丁寧ですが、少し圧迫感があるのではと感じます。QR コードについては、授業ごとに活用するためには、便宜上、もう少し工夫が必要であると感じています。

学び舎は、紙面が大判になっており、見やすいことが特徴です。110 ページのように、各項ごとのタイトルの言葉の使い方が特徴的で、生徒の興味が湧くような工夫を感じます。全体を通してですが、時代の区切りが分かりづらいことに加え、重要語句が太文字でないため、何を指標にして学ぶべきか分からない生徒も出てくることが懸念されます。ただし、あえて重要語句を太くしたり、ラインを引いたりせず、生徒の主體的な学びを促進させるという面もあるのではないかと考えます。

最後に、令和書籍です。文字が小さく、縦書き 2 段構成であるため、小学校や他分野との違いに戸惑う可能性があると感じています。しかし、386 ページのように、興味深いコラムが多くあり、直接授業と関連していなくとも、歴史の読み物として、歴史好きの生徒には非常に興味を引く内容となっています。写真等は肖像画が多く、白黒で細かいところの描写が分かりづらいのではという懸念があります。

以上が社会【歴史的分野】についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは引き続き、主に担当いたしました私より報告いたします。

教科書の構成や学びの流れなどは、各発行者それぞれが特徴的な個性を持ち、本市の子どもたちにとって、どのような視点で考え、最も適切であるかを判断するのは、難しいですが、歴史の学習を通じて、これからの社会を生き抜く力を育むことができるよう工夫され、本市の教育方針、また、本市の子どもたちが使用するに当たり、端末を活用しながらより探究的な学びを実現できるかという視点に立ち、より適当と考えられる東京書籍と日本文教出版の 2 者について報告いたします。

どちらの発行者も紙とデジタルでの学びが往還的に実現できるよう、各項の決まった場所に QR コードを配置し、迷わずいつでも端末を活用できるよう工夫するなど、誰にとっても使いやすく、学びやすい教科書を作成しようとする意図が感じられました。また、教科書全体を通じて、「問い」を中心に課題解決的な学習を見通しながら進めていくことができるよう、より良い工夫をされていると感じました。

それではまず、東京書籍について報告したいと思います。本者は教科書全体を通じて、豊富な写真や資料を扱い、生徒の興味や関心を引き出しながら、主体的な学びにつなげていこうとする工夫が見られるのが大きな特徴です。また、3 ページにあるように、歴史を学ぶことが持続可能な社会の実現につながるということを明示し、歴史を学ぶ意義を明確にしている点がもう一つの特徴だと感じました。

次に、日本文教出版では、東京書籍と同様に、端末活用を促す工夫や、生徒の興味を喚起する写真やイラスト、資料を豊富に揃え、主体的な学びにつなげる工夫をしています。本者の教科書で特に印象を受けたのが、巻頭2 ページの「歴史を学ぶにあたって」に、地域の歴史を知り、発見していくことの重要性を述べており、このことと本市の世界遺産学習との親和性を感じました。歴史上の出来事の時期や年代、推移、相互の関連、例えば世界史との関係等がイメージできるよう、127 ページのように各単元に「できごと」の年表を入れています。また、156 ページのように、年表に小学校で学んだことを載せている点など、細かな配慮ですが小学校との学びの連続性を意識できるよう工夫されている点も特徴的であると考えております。

私からの報告は以上です。

各委員からのご質問、ご意見はございませんでしょうか。

梅田委員 日本文教出版には、目次から見ますと「歴史との対話を未来に活かす」というページが設けてありますが、自身が学んできたことを通して、これからの生活や身の回りの様々な伝統や文化との兼ね合いをどのように生かすかを考えさせる工夫があるかと思います。東京書籍の方にも、学んできたことを生かすページは設定されておりますでしょうか。

教育長 東京書籍にも各章末にまとめ活動を促す箇所はあり、学習したことをまとめる活動を行う構成になっています。

梅田委員 ありがとうございます。章末のまとめ活動をどう生かしていくかが、非常に大切だと感じました。

教育長 ありがとうございます。ほかにご意見等ございませんでしょうか。

柳澤委員 少し関連しますが、両方で生徒の自主的な活動をより促すようなペー

	ジは設定されていますでしょうか。
教 育 長	どちらの教科書発行者も工夫されていますが、例えば、日本文教出版では、1時間で学ぶ中で「確認」と「表現」というものがあり、学んだことを生かして復習をしたり、話し合いの中で答えを見出したりできる工夫がされていると感じました。
柳 澤 委 員	ありがとうございます。分かりました。日本文教出版のSDGsの取り上げ方ですが、歴史の対話を未来に生かすという観点、あるいは学年の終わりにおいて次につなげていこうということが、より明確になっているように感じました。
教 育 長	ありがとうございます。 それでは、ほかにご意見等ございませんでしょうか。
川 村 委 員	本当に2者とも写真や年表がカラフルで、とても生徒にとっては見やすい教科書になっているなと思います。その中でも、日本文教出版は、生徒が興味を引くようなコラムや、学習のまとめなど、道しるべになるようなものが整理されていて、生徒にとってとても良い形でまとめてくださっているのではないかと思います。
教 育 長	ありがとうございます。 それでは、ほかにご意見等ございませんでしょうか。
新 井 委 員	2者とも、教科書のページ右側に年表として時代が整理され非常に分かりやすいと思いますが、日本文教出版の方がより時間軸をしっかりと意識して表記されているように感じます。
教 育 長	ありがとうございます。ほかにご意見等ございませんでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは社会【歴史的分野】の採択を行います。 いずれの発行者につきましても、工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、生徒が主体的に学習を進めることができるという点で、そのための工夫がより特徴的であると評価が高かった「日本文教出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。
各 委 員	異議なし。
教 育 長	異議なしと認めます。それでは、社会【歴史的分野】は「日本文教出版」とさせていただきます。

続きまして、社会【公民的分野】についての審議に移ります。  
小林選定委員長、お願いします。

小林選定委員長

社会科の公民的分野は6者の研究を行いました。

まず東京書籍ですが、78ページ「みんなでチャレンジ」のように、18歳からの選挙制度を考えていく場面など、生活と関連した題材の設定がされています。また、写真やイラストなど資料が見やすく、各項ごとにQRコードが掲載されており、毎授業時に、ICTを活用した学びを進める上での使いやすさがあります。122ページのように、各章の振り返りは、観点ごとに活動内容がまとめられ、また協働的・対話的な学びにつながるよう工夫されています。

教育出版は、1ページや224ページのように、教科書の中の教材とSDGsとの関連を図り、持続可能な未来を意識した学習を進めることができるよう工夫されています。一方で、59ページのように見開き単元ごとの振り返りの課題が2問ありますが、両方とも説明させる内容になっており、生徒が取り組みづらさを感じる可能性があります。238ページでは、使用頻度の高い巻末の日本国憲法の重要語句を太字ではなく、水色の下線で示されており、文字も小さく見づらいのではと感じます。

帝国書院は、22ページのように、各章にある「アクティブ公民AL」において、現実の社会で起こりうる事例を提示することで、協働的・対話的な学びにつながるような題材の工夫がされています。コンテンツが豊富ですが、QRコードが各節の最初にしかないため、その都度そのページに戻って読み取る必要があります。また、巻末の日本国憲法の法令集の重要語句が赤い下線は引かれていますが、太字でないため見づらいのではと感じます。

日本文教出版は、題材や資料の視覚的工夫に特徴があります。「アクティビティ」も多く示し、より対話的な活動により深い学びを促しています。180ページの資料で、社会保障制度の給付をイメージグラフで示すなど、特徴的な資料やグラフを用い、生徒にとって分かりやすく示しています。各項ごとにQRコードが掲載されており、毎授業時にICTを活用した学びを進める上での使いやすさがあります。

自由社では、2、3ページのように、ポイントの提示がありますが、授業において生徒に答えさせたい部分であり、協働的な学びにつながる具体的な課題設定等があれば、学習をより深めやすいと考えます。48、49ページの市民革命の箇所のように、年表にするなどの編集上の工夫や、64ページのレイアウトなどの工夫があれば、なお良いと思います。

育鵬社は、88ページの新聞社の社説をめぐるディベートや、188ページの拉致問題、また、166ページの「人生をデザインしよう」など、特徴的な題材が豊富に掲載されています。しかしQRコードが目次にのみ配置されており、授業時に必要な情報を活用するためにはもう少し工夫があれば良いと感じます。

以上が社会【公民的分野】についての報告です。

ありがとうございます。

続きまして、主に担当いたしました私より、公民的分野について報告をいたします。

いずれの発行者につきましても、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする資質・能力の育成を目指し、現代社会の課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする態度を楽しく学習しながら身に付けていけるよう工夫していると感じました。その上で、本市の子どもたちが普段から生活している、学校、地域社会から自分がどのように支えられ、そして支える存在であるかを実感できる、より適当だと考える東京書籍と帝国書院、そして日本文教出版の3者について報告させていただきます。

最初に、東京書籍についてでございます。90ページのように、「18歳へのステップ」と表して、卒業後、18歳を迎えた時に、主体的に社会に参画する態度を育成しようとする工夫が随所に見られます。例えば、55ページ、「みんなでチャレンジ」のように、個人での学びとグループでの活動の相互作用で学びを深めるための工夫があります。また、130、131ページの導入の活動のように、探究課題を示しながら、生徒が主体的に学びに向き合えるような工夫を凝らしていると思いました。

次に、帝国書院です。116、117ページのように、学習の前に自分の実生活をイメージできるようなイラストを大きく掲載し、以後の学習に関わりを持たせることで、学習内容を俯瞰的にとらえることができるような工夫をしています。また、120ページの「アクティブ公民AL」のように対話的な学びができるよう工夫をしており、「もしも無人島に漂着したら？」など特徴的な課題を提示して、楽しみながら課題の解決に向けた思考を巡らせられるよう工夫をしていると感じます。QRコードの配置や巻末の日本国憲法の重要語句の表し方など、細かい部分での工夫の余地はあると感じています。

日本文教出版は、巻末に公民と他教科のつながりや高校での公共とのつながりを写真で示すなど、15歳のうちから、有権者となる18歳を強く意識させる編集となっている印象を受けました。また、教科書全体を通して人権や防災、多文化共生など、現代的な諸課題について、随所にコラムを収めていることによって、生徒が現在や将来にわたり自ら関わる課題として主体的にとらえ、課題解決に向けて取り組めるような工夫がされていると思いました。細かい配慮ではありますが、82、83ページのように、現実社会と学習内容を結び付けることが難しい公民という分野を、漫画を使うことで学習内容をイメージしやすくし、以後も学習に対して学びやすくする工夫が見られます。

私からの報告は以上です。

各委員からのご意見ご質問お願いいたします。

柳澤委員	日本文教出版の67ページには、AIの発展と実験が取り扱われていますが、他者では、AIに関してどう取り上げているのでしょうか。
教育長	東京書籍では12、14ページ、帝国書院では7ページ等に記載があり、各者とも一定取り上げています。
柳澤委員	ありがとうございました。
教育長	ほかにご意見等ございませんでしょうか。
梅田委員	様々な分野で学んできたことを総括しながら学習に生かしていくということを考えたときに、先ほどの報告にありましたが、帝国書院で示されているような「アクティブ公民AL」などは、学び方としてはとても大切なことだろうと思う反面、全ての単元や題材においてそれだけの時間数を割いて探究的な学習を行うには、現実的に多少難しさを感じます。その辺りは、学習活動としては求めたい中身ではありますが、適度に盛り込まれている方が使用しやすいのではないかと感じます。
教育長	ありがとうございます。ほかにはございませんでしょうか。
川村委員	先ほど選定委員長から、法令の書き方に各者差異があると説明がありました。どのような表記であれば、生徒は使いやすいと受け止めていらっしゃるのでしょうか。
教育長	選定委員長、お願いします。
小林選定委員長	公民の授業においてはやはり、日本国憲法などは必ず押さえておきたいものでありますので、説明しながら読み解いていく場合、日本文教出版のように、キーワードに線が引かれてさらに太字で示される方が、生徒の理解を促していく点から、非常に適当だと思います。
教育長	川村委員、いかがでしょうか。
川村委員	ありがとうございます。よく分かりました。
教育長	ほかにはご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、社会の公民的分野の採択を行います。 いずれの発行者につきましても工夫は見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、主体的に社会に関わろうとする態度を楽しく学習しながら、力を付けていけるように工夫されている点から、「日本文教出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思います

が、いかがでしょうか。

各 委 員 異議なし。

教 育 長 ありがとうございます。異議なしと認めます。それでは社会の公民的分野は、「日本文教出版」といたします。  
続いて、社会【地図】の採択についての審議を始めます。  
それでは小林選定委員長、お願いいたします。

小林選定委員長 では、地図については2者の報告をさせていただきます。  
まずは、東京書籍です。102ページにあるように、随所に問いや難易度の異なる課題を設定し、深く学びを進める工夫があります。一方で、86、111、112ページでは、地形図の配色は少し見づらさを感じます。また、159ページの巻末、統計資料等は情報量が少なく、各地域を調べる上では主要な都市が必要ではないかと考えます。  
次に、帝国書院です。85ページに歴史的分野との関連する項目を見やすく表示され、他領域との横断的な学びをするための工夫が見られます。また、106ページのように緑を薄くする配色により、文字や記号が見やすくなっています。183ページにあるように巻末資料も豊富であり、29、30ページのように、世界地理の導入で地形の起伏や、地域の特徴をイラストで示すなど、馴染みが少ない地域でも取り組みやすい工夫がされています。  
以上でございます。

教 育 長 ありがとうございます。  
続きまして、主に担当した私から報告させていただきます。  
発行者2者につきまして研究を進めたところ、いずれもA4版の大きな紙面を生かして、ダイナミックかつ色彩や写真、イラスト、資料などを使い、学習指導要領が示す地図帳を活用し、地図を読み、地域の情報の収集や処理などができる技能を育成するために、生徒が興味や関心を持って活用できるように工夫されていると思います。その上で、2者について報告をいたします。  
まず、東京書籍でございます。111、112ページのように、東京の今と昔の鳥瞰図を示していて、地図から歴史の流れや変化を体感できるよう工夫されています。随所に「ミツバチーズ」というキャラクターを活用し、対話の課題や地図での問題などを準備することで、主体的な地図帳の活用を促す工夫をしていることも特徴の一つであると思いました。一方で、19、20ページのアジアの鳥瞰図のように、3Dのようなイラストを使うことで、標高や海拔等の地形の特徴がよく理解できるようにされていますが、例えば、地域の文化財や建物、民族衣装など、具体的な紹介があればなお良いと感じたところです。

続いて、帝国書院です。117、118 ページのように、歴史や公民等、他の分野、他教科での活用だけでなく、様々な教育活動において活用できるよう関連する情報をふんだんに組み込んでいます。また、29、30 ページのアジアの鳥瞰図のように、特産物や建築物、自然などのイラストを使用することで、各地の地域的特色の概略を、生徒が親しみを持ちながらつかめるように工夫されていると感じました。加えまして、配色の配慮をすることで、細部の情報まで見やすさが工夫されており、地図を活用する上で最も必要な大切な視点であると考えております。

私からの報告は以上です。

それでは、各委員からご意見、ご質問よろしくお願いいたします。

柳澤委員 東京書籍の鳥瞰図は、19、20 ページですが、盛り込まれていることが少ないということでしょうか。

教育長 帝国書院と比べるとそうなります。生徒にとっては、その場所にどんな生活があるのかという結びつきになるので、情報量の多さは大きな違いであると考えています。

以上です。

柳澤委員 ありがとうございます。

教育長 ほかにご意見等はございませんか。

梅田委員 少し関連しますが、社会科の学習で地図を使う場面において、目的に沿った分かりやすさを示すことが求められると思いますが、地図帳に教科書内の資料的なものもより含まれてきたことによって、生徒の学びに何か影響はありますでしょうか。

教育長 その点について、小林選定委員長、いかがでしょうか。

小林選定委員長 現代では、地図帳やその資料について、インターネットでマップが提供されていますので、地図帳の存在価値自体が問われている部分もあると思うのですが、例えば帝国書院の35 ページには、中国側から日本が逆さまに映っているような意図的な見せ方をしており、生徒の学びにおいては地図帳の価値は非常に高いと考えております。

教育長 梅田委員、いかがでしょうか。

梅田委員 ありがとうございます。ぜひ、特徴的な場面において生徒たちの見方や考え方を広げるといった使い方をしていただきたいと思います。

教 育 長	ほかにご意見等ございませんでしょうか。
新 井 委 員	日本の地図作成技術は世界的に見ても非常にレベルが高く、世界の標準の Web マップに掲載できないような、見せ方が難しい情報も出てきます。その観点からすると、紙面上で見た目がしっかりしている等、表現が高度である点で、帝国書院の地図は価値が高いという意見に同意できます。
教 育 長	ほかにご意見、ご質問等ございませんでしょうか。 それでは地図の採択をしたいと思います。 いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、生徒にとって見やすい点、そして生徒が地図に親しめるよう工夫されているという点について評価の高かった「帝国書院」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。
各 委 員	異議なし。
教 育 長	それでは異議なしと認めます。それでは地図は「帝国書院」とさせていただきます。 続いて、数学の採択について審議をいたします。 小林選定委員長、よろしくお願いいたします。
小林選定委員長	数学についての報告をさせていただきます。数学については、7 者の教科用図書の調査研究を行いました。 まずは、東京書籍です。1 年 110 ページにあるように、問題の横にマークを付け、□（四角）で知識・技能、○（丸）で思考・判断・表現を示し、どの問題がどの観点につながるのかが分かるよう工夫されています。また、必ず解きたい問題を示し、分かりやすくどこに力を入れればよいか目安になる工夫をしています。1 年 250、251 ページにあるように、「数学の目で振り返ろう」では、既習内容から、発展的に考える箇所を随所に設定し、数学的な見方、考え方を育む工夫があります。各ページに QR コードが付いているので、活用のタイミングが図りやすいのも特徴的です。 大日本図書では、1 年 4 ページに示されているように、紙面構成がシンプルであり、見やすくなるよう工夫されています。また、19 ページのように、全ての单元において「めあて」が明示されており、62 ページの章末問題には、知識・技能、考える力や表現する力等が身に付いたかの確認が掲示されています。QR コードは全て巻頭にまとめられているのも特徴の一つです。 学校図書ですが、1 年 57 ページで素数を学びます。それ以降のペー

ジ数が素数の場合は、それと分かるような記載となっており、生徒の興味を引く工夫がされています。64 ページのように、各章末に発展的な問題や探究的な学びの活動を行うことができるよう、「深めよう」という問題が設定されています。また、209 ページの下部や巻末ページに「数学の力」のように、数学と実際の仕事の関係や、数学を実際の仕事に役立てている人のコラムなど、キャリア教育との関連が図られているのも特徴の一つです。

教育出版ですが、1 年 22 ページの「数学の広場」にあるように、各章の導入は、知識的な部分と実生活に応じた部分があり、興味・関心を持たせる工夫がされています。1 年 63～66 ページのようにまとめ、演習、発展的な取組で終わらせる形で系統立てられていることが特徴的です。1 年 70 ページの右下のように、章の最初に「数学しごと人」として学習内容と関連する人物を示し、106、107 ページで、実生活で数学が役立っていることを実感できるよう工夫されています。

新興出版社啓林館ですが、1 年 81 ページにある数学ライブラリー等、実生活につながることを紹介している箇所が随所にあり、数学の学びを広げ深めるための工夫が見られます。50、51 ページのように、QR コンテンツが豊富に配されており、それぞれコンテンツの内容が分かるよう、マークで示しているため、授業における端末活用をスムーズに行えるよう配慮されています。84、85 ページにあるように、単元内で知識・技能が身に付いたかを、「あしあと」の中で、生徒が自らの学びの深さを確認することができるよう工夫されているところが特徴的です。

数研出版ですが、1 年 118～120 ページにあるように、項末の練習問題や章末の活用問題など、演習が豊富に用意されており、確実な資質・能力の育成を図っているのが特徴的です。また、11 ページに示されているように、章の最初に知識の振り返りを示し、また、35 ページの演習問題では、どこのページを見れば解答へのヒントが得られるかが分かるよう記されています。78、79 ページなどにあるように、多くの演習問題をデジタルで豊富に収容し、紙と端末を併用して活用することで効果を高める構成になっていることも特徴的です。

最後に、日本文教出版ですが、1 年 9 ページに、学習の振り返り方を示すことで、生徒自身が具体的にすべきことをイメージできる工夫があります。同じく 1 年 11 ページのように、既習内容を問題で振り返ってから次の章に進むような構成になっているところが特徴的です。また、1 年 14 ページの見開きの左上に「めあて」が書かれており、まとめに向けての流れが分かりやすくなっています。1 年 30、31 ページのように、単元の説明が教科書見開きでまとめていることが多く、1 時間の流れが分かりやすい配置となっていることが特徴的です。

数学の報告は以上です。

それでは、続きまして、主に数学を担当いただきました新井委員よりご報告をお願いいたします。

新井委員

それでは私の方から、数学について報告いたします。

各者ともよく出来ており、特別大きな差異はなく、授業で先生が何かあっても補填できると考えるため、どの教科書を使っても生徒にとって授業進行上の大きな問題はないと考えています。選定委員からの報告書からもそう見受けられ、基本的に内容については同意できるところばかりですが、解説的な内容で少し差があると気が付いたところがありました。特に図形の問題はインタラクティブに考える構成であるべきだと思うため、今回、解析の内容差があると感じたところで、それを説明できるような点で東京書籍と新興出版社啓林館と、教育出版の3者について報告します。

特に紙面について説明したいのは、2年です。2年の連立方程式に関する部分にクローズアップして、比較して説明をしたいと思います。東京書籍は2年38ページ、教育出版では2年48ページ、新興出版社啓林館では2年40ページになります。

まず、東京書籍は、書き込める空欄を最初に埋めて二元一次方程式を手作業で解いていくのですが、書き込める空欄が若干多いので、導入段階では空欄を少なくした方が戸惑う生徒が少なくて扱いやすくなるのではないかと考えられます。また、東京書籍と教育出版は書き込める空欄が小さく、使いづらさが感じられます。それに対して、新興出版社啓林館は空欄が大きく、そこは生徒にとって分かりやすく扱いやすいという、そういった違いが出てきました。

東京書籍の39ページ真ん中で、連立方程式を書いた後に文章を続けている箇所がありますが、数学では一般的には改行するのが基本で、例えば論文を書く場合にもあまりやらない方法なので、式の定義と文章は分けて記載した方が良いかと思います。その観点からすると、東京書籍の書き方はもう少し工夫があると良かったかと思います。

また、連立方程式の解であるかどうかを確かめる場面で、新興出版社啓林館では、40ページのように例題が設定されていて、より丁寧であると感じました。

私からの報告は以上です。

教育長

ありがとうございました。

各委員からのご質問やご意見はございませんか。

柳澤委員

QRコードですけれども、その配置の仕方を含めて、活用のしやすさという点ではどのようにお感じになりましたか。

教育長

新井委員、いかがですか。

新井委員	<p>活用のしやすさや、その配置についてという視点で見ますと、QRコードの先の内容については、教科書の記載から、その図形などを生徒自身が操作できるコンテンツを搭載していることが教科書の記載から分かりますので、インタラクティブな学びにつながるように工夫されていると読み取れると思います。新興出版社啓林館については、特に、学習者に対する配慮や工夫を感じました。</p>
教育長	<p>柳澤委員、いかがでしょうか。</p>
柳澤委員	<p>ありがとうございます。確かに、生徒が主体的に活用できるかどうかという視点ということで、新井委員がおっしゃったとおりだと私も感じました。</p>
教育長	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
梅田委員	<p>数学は、数学的な考えや活動を通して知識・技能を身に付けるものだと考えますと、連立方程式の比較でも、考え方のプロセスをいかに示しているかが大切であると思います。</p> <p>教科の特性から考えても、個々の生徒の学習進度に違いが生じやすいため、個別最適化された学びを求めていくことも大切であるという意味からすると、QRコードの配置の工夫についても判断材料としていくことは大切であると感じました。そのことを踏まえるとともに、選定委員長のご報告や、新井委員のご報告をお聞きしていると、新興出版社啓林館が、より工夫を感じることができるのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。ほかに、ご意見等はございませんでしょうか。</p>
川村委員	<p>今、2年の連立方程式に注目した報告を伺いましたが、私は1年の教科書も拝見しました。1年の教科書の巻末に、東京書籍と教育出版には図形を作る付録がついていますが、新興出版社啓林館にはそれがありません。このことは、学校現場で生徒たちにどのように影響するのか、確認させてください。</p>
教育長	<p>小林選定委員長、お願いします。</p>
小林選定委員長	<p>この巻末の付録は、あればあるでありがたいですが、大体授業を見ますと、ケント紙を使い子どもが実際に手を動かしながら立体を作るという活動があります。授業者は、付録の有無に関わらず工夫して授業を行いますので、特段の差とはならないのではないかと思います。</p>

教 育 長	川村委員、いかがでしょうか。
川 村 委 員	なくても大丈夫ということが分かり、安心しました。
教 育 長	ほかにご意見、ご質問等はございませんか。 それでは、数学の採択をしたいと思います。 いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員の意見を伺っておりますと、学習者の配慮に工夫があり、生徒が自らの学びの進度や深さを確認しながら主体的に学習を進めていくことができるという点で評価の高かった「新興出版社啓林館」が、奈良市の子どもたちにとってよりふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。
各 委 員	異議なし。
教 育 長	異議なしと認めます。それでは、数学は「新興出版社啓林館」とさせていただきます。続きまして、理科の採択の審議に移ります。小林選定委員長、よろしく申し上げます。
小林選定委員長	理科については、5者についての調査研究を行いました。 まず、東京書籍です。写真やイラストの見せ方は大胆で、生徒の興味を引き出す工夫が教科書全体で工夫されており、3年間にわたり生徒が主体的に教材に取り組む授業づくりにとって助けとなる教科書であると感じています。例えば1年48ページの写真からも分かるように、学習指導要領の目標である科学的な探究を意識しており、事象に気付いたり、理由を考えたりすることの大切さを分かりやすく示しているのが特徴的です。また、84ページのように、科学的な探究の過程を具体的にデザインし、実験などのプロセスを図示しながら分かりやすく示しています。 大日本図書ですが、1年4、5ページで示されているように、「Science Press」や「くらしの中の理科」などのマークを付けながら、題材を提供しているところが特徴的です。また、探究の過程を意識したページ構成であり、身の回りの事象から物事の本質を探るための補助となる教科書であると感じています。一方で、B5判のため全体的に手狭に感じることや、それに伴い図表はシンプルで見やすいがダイナミックに生徒を引き付ける写真やイラスト資料が少なく感じるようです。 学校図書では、1年4、5ページのように、探究について分かりやすく図示し、科学的に探究するために、「探究の手法」をマークや色帯などを用いて、ページの左側に示しており、学習を進める中で、生徒に科学的な探究活動を意識づけしています。1年36ページに、「この時間の課題」が「本時のねらい」として設定され、右下の「まとめ」につながる

っています。ページ左下に見方・考え方のポイントが書かれており、それらを手がかりにしながらその時間の学習が完結できるよう工夫されています。実際の写真を多用し、写真資料はダイナミックで、図表や写真が見やすく、生徒の学ぶ意欲を引き出す紙面の工夫が見られます。

教育出版は学習の見通しの意識づけができる構成となっています。また、1年23ページや42ページのように、教科書全体に小中一貫の視点が見られ、1年50ページでは、上級学年へのつなぎも意識されていることが感じ取れます。1年105ページには、分数や小数や割合が苦手な理科が嫌いになることになる子どもが多いことに配慮し、溶液の学習における濃度計算では、小学校算数の計算方法について丁寧な説明があります。教科書冒頭には、「探究の進め方」を折り込む工夫がされており、全ての単元において生徒の探究活動を支援する教科書のつくりとなっています。

新興出版社啓林館では、1年62、63ページにあるように、本者の特徴として各単元の扉にテーマ設定を行っている点が挙げられ、科学的に探究する姿勢を促しています。また、1年59、89、123ページにあるように、「探Qクラブ」として、身近なものを使って生徒が主体的に学びを深められるような題材が提供されています。また、小学校で学んだことを振り返る「つながる学び」や「算数・数学との関連」などを示し、縦と横の学習のつながりを意識した構成となっているのも特徴的です。加えて、1年87、114、117ページなどにあるように、西日本の資料が多く、身の回りの社会に即した内容を取り扱っていることも特徴的であり、3年間理科に興味を持ちながら、「理科好き」を多く育てるための工夫が加えられた構成であることを感じております。

以上が理科についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に理科を担当いただきました柳澤委員からご報告をお願いします。

柳 澤 委 員

それでは報告いたします。

理科につきましては、5者のうち特に特徴的であると感じました新興出版社啓林館と東京書籍について報告をいたします。

QRコードの量は、奈良県教育委員会の資料を参考にしますと、3年間を通じて新興出版社啓林館が432点、東京書籍が568点であり、コンテンツの解説は新興出版社啓林館並びに東京書籍ともに比較的良好教科書のページを割いており、説明もよくなされていると思われました。SDGsに関するページ数については、これも量的なところは概ね他者も含めて横並びでありました。

まず、東京書籍についてです。マニュアル的に完備した形をとって、実験、観察については、数点に絞って詳しく解説をしています。そ

れ以外の実験等は、より簡単な説明を載せていると印象を持ちました。また、1年70ページの見開きページに大きな写真を掲載し、これを導入部分として生徒たちが入り込みやすいように工夫されています。本書では実験において探究を特に大切にしており、単にマニュアルに沿って実験するのではなくて、課題や問題発見的な解き起こしがされるような工夫が行われているのも特徴的です。例えば、1年の84～89ページの「じっくり探究」ではしっかりイラストを入れてより丁寧に実験の機会を提供しており、問題発見、構想、実験、そしてまとめ、考察、検討、改善、振り返りという一連の流れを非常に丁寧に説明している印象を持ちました。

続いて、新興出版社啓林館では、巻頭で丁寧に理科の導入解説を用意していて、うまく編集されている教科書であるという印象を強く持ちました。ICTの活用にもかなり力を入れており、生徒の端末利用の促進が大いに期待できると感じました。1年の9、10ページの目次は、他者と比べて文字数が非常に多いという印象を持ちますが、例えば実験時の「発展」等、高校段階の内容も含めた形になりますので、授業される先生方は教える事項について年の計画の中で方針を定めておかれたら良いと思いました。

実験の流れについては、これも東京書籍とほぼ同じ形をとりますが、1年140ページにあるように、「探Q実験」と表して探究的な実験のガイダンスとなっており、これを用いて生徒同士がディスカッションできるものとなっているのが特徴です。

私からは以上です。

教 育 長

ありがとうございます。

ただいま、柳澤委員からご報告いただきました。各委員から、ご質問、ご意見、よろしく願いいたします。

梅 田 委 員

理科においては科学的に探究するための資質・能力が重要になると考えますが、中学校の現場においては、主にどのような方法で進めていますでしょうか。

教 育 長

小林選定委員長、その点はいかがでしょう。

小林選定委員長

探究の授業の一番難しいところは、テーマを余りにも拡散しすぎると、最後収束させることが難しくなることだと思います。やはり基本的なことを伝えながら、課題設定をして振り返りまでしっかりデザインして、課題解決学習の手法を授業で進めていくというのは非常に大事なことだと思っています。

教 育 長

梅田委員、いかがでしょう。

梅田委員	<p>ありがとうございました。授業の流れの中では、探究という過程を経て振り返り、またその流れに戻り、それぞれの学年で重視している学習の過程で力を付けていくことが、奈良市が大切にしている Arts STEM の考え方にもつながってくるものと思います。</p> <p>その点においては、両者とも探究的な学びが展開できるよう、構成を工夫したり、算数・数学など他教科との関連を意識させるページを設けたりしていますが、新興出版社啓林館の教科書が、理科の学習で使う計算方法などについて、より詳しく説明していると感じます。</p> <p>以上です。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにご意見等ございませんでしょうか。</p>
新井委員	<p>実験などに際しては、事前に導入動画を見てイメージを持って取り組むことが必要かと思います。そういった観点から、QR コードの配置はいかがでしたか。</p>
教育長	<p>柳澤委員、その点いかがでしょうか。</p>
柳澤委員	<p>今、新井委員がおっしゃったように、事前にイメージを持って実験に取り組むということは、生徒にとって大変重要なことだと思います。その点において、基本的には2者ともに解説や動画等も含めた QR コードが適切に配置されているように思いますし、大きな差はないと思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。新井委員、いかがでしょうか。</p>
新井委員	<p>理科におけるデジタルコンテンツは、特にその内容が重要に感じています。将来的には採択においても重要になってくると考えますので、今後も各者の工夫に期待したいと思っています。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。私からも意見させていただきます。</p> <p>STEAM、本市でいう、Arts STEM を意識した編集という視点で見ると、例えば、新興出版社啓林館の1年146ページには、数学と関連させている部分があり、教科等横断的な学習を推進しようとする意図を強く感じました。また、同者では、1年20ページに小学校からの学びの関連が記載されており、東京書籍にももちろんそういった記載はありますが、新興出版社啓林館の工夫の方が、より特徴的であると私は感じました。</p> <p>その他、ご意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、理科の採択をしたいと思います。</p> <p>いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員のご意</p>

見を伺っておりますと、生徒が学習の見通しを持ち、学びを深めることができるよう配慮されているという点で評価の高かった「新興出版社啓林館」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いましたが、いかがでしょうか。

各 委 員 異議なし。

教 育 長 異議なしと認めます。それでは、理科は「新興出版社啓林館」とさせていただきます。

それでは、2時間経ちましたので、5分程度休憩したいと思います。一旦、議事を中断します。現在、私の時計で3時10分ですので、3時15分から始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

教 育 長 それではただいまから、引き続き審議を始めさせていただきます。続きまして、音楽【一般】の採択の審議に移ります。それでは小林選定委員長、よろしくお願いします。

小林選定委員長 音楽【一般】についての報告をさせていただきます。音楽については2者の教科用図書の調査を行いました。

まずは、教育出版です。1年12、13ページでは具体的なイラストが示されており、例えば歌唱には、どのように取り組むべきかが分かりやすく示されています。一方で、2年、3年上巻の20、21ページで、「早春賦」が扱われていますが、変声期で音域が難しいのではないかという懸念があります。2、3年上巻46、47ページにおいては、作品に関する説明が多く、鑑賞の際のポイントも示されているので、曲の特徴が深く学べる工夫がある反面、文字が若干細く、読みづらいところが懸念点であります。

続いて、教育芸術社です。1年8ページの「学習の内容」に、各教材のねらいが明記されているため、身に付けられる力やねらいが教材ごとに分かりやすく示されているところは工夫を感じます。また、2、3年下巻12～14ページのように、間奏の間にページをめくることができるよう工夫されていることは、生徒目線に立った工夫であると考えます。全体的に文字や写真資料の分量、配置が適切で読み取りやすく、色覚等に特別な支援を要する生徒にとっても分かりやすい工夫や配慮がなされていると感じました。

以上が音楽【一般】についての報告です。

教 育 長 ありがとうございます。

続きまして、主に音楽【一般】を担当いただきました、梅田委員からご報告をよろしくお願いします。

音楽は生徒が生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる力を付けて、これからの人生を心豊かなものとしていくというのが、大きな目的であり、その観点に立って、2者ともに研究を進めてきました。2者とも、UD フォントやカラーユニバーサルデザインが使用されている仕様で、判の大きさも AB 版であり、1年、2・3年上下という編成となっています。内容においては、活動の方法や学習のヒントをキャラクターの吹き出しで示すなど、具体的な学習にいきなっているという印象がございました。

それではまず、教育出版についてです。どの学年も6、7ページで、目次を示しており、8、9ページで、学習マップを示しています。1年生の8、9ページで見ると、縦軸に歌唱、鑑賞、創作の観点が示されていて、ここで示されている色が学習目標とともに、これ以降の各ページの左側に掲載されるという構成で一貫されています。1年の26ページにありますように「比べてみよう」という、他のページとの関連を示すマークを付けていることに加え、26、27ページの下部に自身の考えを書き込むスペースが設けられているなど、随所に考える場面が設定されています。音楽の学習指導要領には「知識」に関わる指導内容は、曲想と音楽との構造の関わりを理解することだととらえられていることもあり、そのための教科書の工夫が書き込みという形になっていると思われる。また、各学年とも巻末に「歌のアルバム」として、様々な歌の歌唱ができる工夫があると同時に、38ページには、創作の観点を扱ったページで、生徒自身のイメージを形にしていくため、視覚的にリズムや旋律の創作に取り組むことができるような工夫がされていると感じました。2、3年の下巻の50ページでは、鑑賞教材の扱いを、様々な国の音楽文化について話し合う場面を設けて、自分の考えを述べることで関心を持たせる工夫を感じ取ることができます。

続いて、教育芸術社です。学年ごとに目次を6、7ページ、そして、8、9ページには学習内容の一覧を設けており、ここに掲載していることを通して、1年であれば、91ページにある学習のまとめとして音楽の学びを振り返るという構成が特徴的であると感じます。また、目次で歌唱、創作、鑑賞が色分けされており、それぞれのページで反映されていることも特徴の一つと考えております。1年の12ページにあるように、題材名の下には具体的な学習内容を示すと同時に、題材名の右側に学習者への問いかけが示されており、生徒が主体的に考えて学習に取り組める工夫が見られる印象です。見開きの右側には音楽用語や、記号及び各教材に示されているQRコードが内容を付して配置されていることも、学びやすさにつながるのではないかと考えます。共通教材を「心の歌」として、1年であれば23ページにあるように、大きな写真を用いたり、QRコードで演奏と風景を確認するように促したりするなど、知覚したことと感受したこととの関わりを考えるという、学習指導要領の内容とのリンクを意図しているのではないかと考えられます。1年20ペ

ージの創作教材では、創作ツールを示し、丁寧に創作について説明しているところも、親しみを持ちやすいのではないかと考えます。また、2、3年下巻の2、3ページにおいては、奈良で音楽活動している方を取り上げるなど、本市との関連性も伺えるところは良い印象を持つことができるかと思えます。

私からは以上です。

教 育 長

ありがとうございました。

ただいま、梅田委員からご報告をいただきましたが、各委員からのご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

新 井 委 員

創作という観点においては、QRコードを通じたデジタルコンテンツに期待する面が大きいかと思えますが、各者とも創作ツール等が用意され、それが記録されていくようなものが配置されることを期待したいと思えます。

教 育 長

ありがとうございました。

ほかに、ご意見等ございませんか。

川 村 委 員

教育芸術社では、「学びのコンパス」というコーナーが随所に配置されていて、1年では19ページにあり、教科書に自分の考えを書き込むページがととても多いと感じました。このような書き込みは、授業では有効に使われるのでしょうか。

教 育 長

この点について、小林選定委員長、お願いできますか。

小林選定委員長

生徒が自分の考えや思いを書き込むことについては、非常に有効に活用できていると思えます。生徒の興味・関心を引いて主体的に学びにつながるように、教員もいろいろな方法を考えて実践していますが、その手法の一つとして、自分の考えを書き留めさせることは非常に有効だと考えております。

教 育 長

川村委員、いかがでしょうか。

川 村 委 員

音楽という一人一人の個性が出やすい教科の中で、そういったものがしっかりと使われているということがよく分かりました。ありがとうございます。

教 育 長

ほかにご質問等はございませんか。

柳 澤 委 員

教育芸術社1年の50ページ以降には雅楽が掲載されていますが、実

	<p>際の授業ではどの程度まで実施されているのでしょうか。</p>
教 育 長	<p>この点につきまして、小林選定委員長、お願いできますか。</p>
小林選定委員長	<p>雅楽については、実際に楽器を取り扱うことは極めて少ないと考えています。音源を聞いたり、YouTubeなどの映像を見たりして、学習することが多い状況です。</p>
教 育 長	<p>柳澤委員、いかがでしょうか。</p>
柳 澤 委 員	<p>分かりました。実際に生徒が雅楽の楽器に触れることについては難しいところがあるのだろうと思っていましたが、機会が少ないのであれば、両者にあるように、紙面上で示される楽器の説明がより大事になるだろうと思いました。生徒の分かりやすさにつなげるという点で、教育芸術社で各楽器の役割が説明されているのは丁寧であると感じました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、音楽【一般】の採択を行います。</p> <p>いずれの発行者につきましても、工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、学習者にとっても指導者にとっても使用しやすく、生徒が主体的に考えて学習に取り組みながら、資質・能力を育成することができるという点で評価が高かった「教育芸術社」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>
教 育 長	<p>異議なしと認めます。それでは音楽【一般】は「教育芸術社」とさせていただきます。</p> <p>続きまして、音楽【器楽合奏】の採択についての審議に移ります。</p> <p>小林選定委員長、よろしく願いいたします。</p>
小林選定委員長	<p>では音楽【器楽合奏】についての報告をさせていただきます。</p> <p>音楽【器楽合奏】については2者の教科用図書の調査研究を行いました。</p> <p>まずは、教育出版です。2、3ページの見開きページにあるように、世界中の様々な楽器を紹介することで、音楽を愛好する心情を育み、音楽文化と深く関わろうとする意欲を高める工夫が感じ取れます。また、10ページにもあるように最初にねらいが示されているため、身に付けた</p>

い力や表現の工夫について、授業で何をすべきなのかが分かりやすい構成であると感じました。98 ページ「名曲旋律集」のように、鑑賞や歌唱の授業で学習する曲の一部が掲載されており、リコーダーや箏、ギターでの発展学習としても活用しやすい工夫があると感じております。

続いて、教育芸術社です。8 ページ「中学生の器楽」のページで、それぞれの題材でどのような力を身に付けるべきかが分かりやすく示されており、学習の見通しを立てやすくしていると考えます。また 52 ページの「ばちの持ち方」などのように、全体の写真だけではなく、実際にばちを持つときに確認できるように掲載写真の角度にも工夫したり、102、103 ページのようにイラストで分かりやすくコードを示したりするなど、主体的な学びにつなげる工夫も見られます。85 ページの「学びのコンパス」のように、主体的な学びや対話的な学びをどのように展開させていくかを分かりやすく示しているのも、特徴の一つであると考えます。

以上が音楽【器楽合奏】についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に音楽【器楽合奏】を担当いただきました梅田委員からご報告をお願いします。

梅 田 委 員

今回研究しました 2 者ともに、UD フォントやカラーユニバーサルデザインが使用されている仕様となっており、判の大きさも AB 判であり、ページ数もほぼ同じ分量となっています。

それでは、教育出版より報告いたします。7 ページの目次で全体の構成を確認しますと、管楽器、弦楽器、打楽器のまとまりで掲載されております。また 12 ページの見開きのように、題材ごとに目標を示して、技能や表現力に関わる学習ができるような工夫が感じ取れます。30 ページの「表現の仕方を調べてみよう」では、音楽的な見方や考え方を働かせる活動が設けられており、生徒にとっても有益な活動が行えるのではないかと感じます。さらに 21 ページの「深めてみよう」では、これまでの学習で身に付けてきた学びをより深める学習活動を呼びかけているように感じます。様々な文化と伝統の結び付きや、郷土の伝統音楽については、31 ページにある「吹く楽器の仲間たち」や、56、57 ページの「弾く楽器の仲間たち」を通して学習できる工夫が見られました。

続いて、教育芸術社ですが、目次の 6、7 ページで全体を見ますと、リコーダーやギター、そして、琴、三味線、太鼓、篠笛、尺八という和楽器のかたまり、また、アンサンブルのかたまりがあり、楽器でメロディーを演奏することで関心を広げていく工夫がされていると感じます。8、9 ページには「中学生の器楽」を通して学ぶ学習内容が示されており、16 ページにあるように、学習目標と具体的な活動例が左側に示されています。また、「考えたいポイント」が問いかけの形で記述してある

ので、課題意識を持って主体的な取組につないでいくような構成になっているのも特徴的です。リコーダーでは、レッスンは1～4という、徐々に力を付けていく構成になっているので、生徒にとっては学習しやすいと思います。17ページにある「学びのコンパス」では、自分の考えを整理して友達と話し合いながら学びを深めていくそんな活動を位置付けています。68ページではバンドの世界、70ページでは和楽器、107ページでは様々な場面を示し、生徒の関心や活動を引き出しているところも、特徴的ではないでしょうか。また、生活や社会で音楽が果たしている役割を感じ取れるような様々な場面が掲載されていたり、例えば50ページ及び裏表紙のように、太鼓を使った各地での祭りや芸能などを示したりすることは、伝統音楽の良さや愛着を感じさせることにつながっていると思われます。

以上で報告を終わります。

教 育 長

ありがとうございました。

ただいま梅田委員から報告をいただきましたが、各委員からのご質問やご意見はございませんでしょうか。

柳 澤 委 員

両者の目次を見ますと、どちらも楽器ごとにまとめて扱っているようですが、梅田委員の報告にもあったように、教育芸術社は和楽器を固めて記載しています。学校現場で実際に教科書を使う場合、扱う楽器の配列について何か違いがありますでしょうか。

教 育 長

小林選定委員長、お願いします。

小林選定委員長

先ほどと同様、全ての和楽器を網羅することは難しいのですが、目次にて整理されていることは非常に生徒にとって分かりやすいと思います。

教 育 長

柳澤委員、いかがでしょうか。

柳 澤 委 員

ありがとうございました。

教 育 長

ほかにご意見等はございませんでしょうか。

川 村 委 員

中学校の限られた授業の中で楽器全てを網羅することは難しいというお話がたびたび出ておりますが、我が子のことも思い出すと、小学校で使用したソプラノから中学校ではアルトに移るリコーダーが、やはり生徒にとっては一番身近な楽器だと改めて感じました。その思いから、両者を比べてみます。

ソプラノリコーダーが上手に吹けなくてもアルトリコーダーであれば

吹けたり、あるいはその逆のパターンであったり、リコーダーに対して子どもたちの得手不得手があると思います。その得手不得手を乗り越えて子どもたちをサポートできるのは両者のうちどちらであるかという  
と、教育芸術社は10ページから扱われ、アルトリコーダーのサポート曲も多ページにわたってたくさん載せられています。また、生徒に向けての丁寧なコメントがそれぞれのページで分かりやすく記されていて、上手に演奏できるようになるためのサポートについて教育芸術社の方が、丁寧な工夫をされていて、子どもたちに寄り添ってくれていると感じました。

以上です。

教 育 長

ありがとうございます。ほかにご意見等はございませんでしょうか。それでは音楽【器楽合奏】の採択を行います。

いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、丁寧な説明により、生徒がスモールステップで学びを進められる工夫が見られ、また、生徒が課題意識を持ちながら主体的な学習につなげられる構成の工夫があるという点で評価が高かった「教育芸術社」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いましたが、いかがでしょうか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます、それでは、音楽【器楽合奏】は「教育芸術社」とさせていただきます。

続きまして、美術の採択の審議に移ります。

小林選定委員長、よろしくお願いいたします。

小林選定委員長

それでは美術について、3者の調査研究を行いましたので報告いたします。

まずは、開隆堂出版です。表紙に作品の色合いだけではなく手触りで質感を持たせているのが大きな特徴です。また、全体的な写真の鮮明さも特徴の一つであると思います。一方で、1年44、45ページでは、グレー地に黒字での表記や模様の上に文字がかかるなど、文字のレイアウトについては視覚的な配慮があればなお良いと思われる箇所もあります。52ページでは作品や写真をダイナミックかつ繊細にすることで、鑑賞において使いやすいと感じています。ただし、1年56ページではレタリングについて、もう少し説明があるとなお良いと思われれます。

次に、光村図書出版です。2、3年27ページの浮世絵の紹介で紙の質感を変えている点や、同じく26ページのQRコードのデザインのように、視覚的、感覚的に目を引くよう、デザイン性の工夫が随所に施されています。2、3年65ページでは歴史的な写真やゲルニカが大きなサ

イズで掲載されています。また、2、3年55ページでは、作者が作品をどのように作ったのかなど特徴的な視点でとらえられた箇所が複数あります。本書には別冊がついており、実習時には便利だと考えています。

最後に、日本文教出版です。1年20ページにあるように作者の言葉が示されており、作品制作に際し、制作過程のイメージを持ちやすい工夫があります。QRコードも適所に配置されており、同じく44ページには学びの目標をマークで示すことにより、授業者側が指導の展開や見通しを持ちやすくする工夫を感じます。また、同じく38、39ページの紙面構成のように、授業の進め方をイメージしやすいレイアウトになっており、ICT機器を用いる場面が分かりやすいので、生徒が一人で教科書を使いながら学習しやすくする工夫が感じ取れます。

以上が美術についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に美術を担当いただきました新井委員からご報告お願いいたします。

新 井 委 員

いずれの発行者も非常に魅力的で、大きな差はありませんが、特に工夫を感じた光村図書出版と日本文教出版の2者について報告いたします。

美術の資料は、道具の使い方や表現の仕方について参考になるものだと思いますが、日本文教出版は1年56ページ以降に記載されていますが、光村図書出版の場合は資料を別冊で用意しています。通年必要になるものだと思いますので、個人的には光村図書出版の構成の方が便利だと感じました。

鑑賞をする上で、光村図書出版の方は問いを設定しているパターンがあるのがすごく好印象でした。例えば、1年21ページの導入のところで、どういう印象であったかなどを問いにして、主体的に取り組める構成となっています。これは生徒が親しみやすいと考えます。

日本文教出版は、1年52ページのように、学びの目標は書かれていますが、これをどう読み取るかのヒントがあまりないことが、他者と比べた際懸念されました。また、鑑賞の素材として差を感じる部分があり、風神雷神の題材で例えると、光村図書出版の1年36ページと、日本文教出版の1年24ページですが、どちらが良くどちらが悪いというわけではないですが、日本文教出版は屏風の仕組みで紹介していて、折り目を付けてあります。一方光村図書出版は、銅像で紹介して、絵師によって描き方が違うことや見方を変えると見え方が違うことを説明しているように感じます。また、葛飾北斎の題材について、光村図書出版では、2、3年の40ページ、日本文教出版は2、3年上26ページに掲載があり、各者色味が微妙に違っていますが、重要な技法を伝える観点か

ら、波のしぶきの表現がより細かく目で見えるようになっている光村図書出版の方が、リアリティーを感じます。また、光村図書出版2、3年60ページと、日本文教出版2、3年下26ページには、ゲルニカが大きく紹介されています。詳細度はどちらも差はないですが、光村図書出版は補助的に、爆撃を受けた街の様子の写真や、絵を書いているピカソの写真を載せており、いろいろな観点で、コンテンツの工夫は日本文教出版の出来が良く、詳細度では光村図書出版の方が良いと感じました。

報告は以上です。

教 育 長

ありがとうございました。

ただいま新井委員からご報告をいただきましたが、各委員からのご意見、ご質問ございませんでしょうか。

柳 澤 委 員

2者ともに奈良の仏像について取り扱っていますが、より丁寧な取り扱いをしているのはどちらでしょうか。

教 育 長

新井委員、いかがでしょうか。

新 井 委 員

見た目のインパクトは光村図書出版の方が強いと感じました。生徒をより惹き付けるという点で、見せ方のインパクトは大切かと思います。

教 育 長

柳澤委員、いかがでしょうか。

柳 澤 委 員

ありがとうございます。

教 育 長

ほかにご意見等はございませんでしょうか。

梅 田 委 員

生徒の造形的な見方や考え方を深めていくためには、ご報告にもあったように、様々なものを鑑賞するという活動が行われると思いますが、その際、いろいろなキャラクターを使って呼びかけをするなどの工夫が各者ともあります。指導者とその視点に立って生徒に問いかけていくことは、指導の場面では有効でしょうか。

教 育 長

この点、小林選定委員長、いかがでしょうか。

小林選定委員長

教員によって経験値が違いますので、教科書側が各作品の背景を考えたり、制作のきっかけを提起したりしている工夫は、指導の場面では非常にありがたいと思います。また、生徒が実際に制作する場合においても重要だと考えております。

教 育 長

梅田委員、いかがでしょうか。

梅田委員	ありがとうございました。
教育長	ほかにご意見等ございませんか。
川村委員	今のお話を伺いますと、先生方にとっても、生徒にとっても、光村図書出版が、生徒の主体的な創作活動をサポートしやすいと受け止めました。より工夫が見られるのは光村図書出版かと感じます。
教育長	<p>ありがとうございます。ほかにご意見等はございませんでしょうか。それでは、美術の採択を行いたいと思います。</p> <p>いずれの発行者につきましても、工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、学習者にとっても指導者にとっても使用しやすく、生徒が美術の奥深さを感じながら、資質・能力を育成することができるという点で評価が高かった「光村図書出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
教育長	<p>異議なしと認めます。よって、美術は「光村図書出版」とさせていただきます。</p> <p>続きまして、保健体育の採択について審議に移ります。</p> <p>小林選定委員長、よろしく願いいたします。</p>
小林選定委員長	<p>それでは保健体育について4者の調査研究を行いましたので、報告いたします。</p> <p>まずは、東京書籍です。78ページのように本文に合わせて関連する資料を右に配置することで、授業を行うに当たって進め方をイメージしやすいレイアウトになっていることが特徴的です。また、見開き1ページで1時間の授業の流れを構成することで、指導者も生徒も見通しを持って授業を進めることができると思われます。86ページの災害を考えるページは、過去の災害の教訓により、何について考えなければいけないのかがよく分かる構成となっていると感じています。QRコードも豊富で、生徒が主体的に学習に取り組むための工夫が見受けられます。</p> <p>次に、大日本図書です。40ページには有名アスリートの写真が掲載されており、生徒の興味・関心を引くものであると感じました。しかし、改訂がなされていないため、Webコンテンツをはじめとしたサポートアイテムの充実でそのことをカバーするコンセプトになっているようですが、使用資料やデータが他教科書に比べて古く、アップデートされていないという点が懸念されます。</p> <p>続いて、大修館書店です。41ページにあるようにコラムや資料が実生活と密着しているため、生徒たちが当事者意識を持ちながら授業に取り</p>

組むことができる工夫がされています。また、55ページの「学習のまとめ」のように、発展的な課題提示がされており、自分ごととして考えたり、判断したりする力を高められる内容になっていることも特徴の一つです。さらに資料や写真も豊富で、導入・学習内容が一目で分かるレイアウトになっています。

最後に、学研です。112ページなどにあるように、身近に感じることが出来る資料を掲載し、学習意欲を高める工夫がなされており、学習の進め方が明確に示されていることが特徴です。また、各項に「ウォームアップ」があり、導入しやすい点も好印象ですが、116ページなど、行間が広く読みやすいものの空白が多く、強調されている箇所が分かりにくいいため、ポイントを掴みにくいという懸念があります。

以上が保健体育についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に保健体育を担当いたしました私から報告をさせていただきます。

どの発行者からも、教科書での学びを通して、3年間の中学校生活の中で心と体の成長を促し、体力を高め、健康的な生活習慣を獲得するための知識を習得するための工夫を感じました。また、1時間の授業の中で、導入からまとめまで見通しを持って学習に取り組めるよう紙面構成を工夫している点も、全ての発行者がそれぞれ工夫しているところでした。その上で、本市の生徒にとって学びやすいよう、特に工夫が特徴的である東京書籍と大修館書店の2者について報告をさせていただきます。

まず、東京書籍です。扉ページが非常に印象的で、通常はスポーツ選手などを前面に押し出すことが多いと感じますが、感染症や熱中症など現代の日常生活の中にある課題を押し出すことで、命や健康の重要性を生徒に伝えようとする姿勢が感じ取れました。また、94ページのように、どのページにも学習の流れが分かりやすく、生徒が見通しを持って学習を進められるよう工夫がされていると感じました。さらに「活用する」というコーナーを設け、習得した知識・技能を活用し、探究的な学びにつながるよう工夫されている点も特徴の一つです。巻末に健康や安全に関する技能についてまとめて活用しやすくすることで、生徒が自分や他人の命と健康を守るため、即応的に活用できる工夫があると感じました。

次に、大修館書店です。84、85ページのように、どの項もレイアウトを工夫し、1時間の授業の中で、何を学び、学んだことをどのように日常生活に生かしていくべきかが分かりやすく構成されています。また、98、99ページにある章のまとめに観点別の問題を豊富に用意することで、ワーク等の副教材を使用しなくても学習内容の復習、確認を教科書で行える特徴があります。さらに、42ページや96ページのように、随

所に特集資料を配置して、生徒がより具体的に健康や生活について深く考えることができるような読み物を掲載している点も特徴的であると考  
えます。

報告は以上です。

それでは各委員からのご質問ご意見、よろしくお願ひいたします。

新井委員 2者とも知識獲得の観点から資料としての性質が高いと思いましたが、主体的、協働的な学びの観  
点の違いはありますでしょうか。

教育長 2者ともに言えることではありますが、見開きの中で課題設定をして、学習のまとめを行って  
おり、一単元の授業内で何を考えさせるのかを提起している工夫があると感じますが、その点  
においては、特に大修館書店により工夫を感じました。

新井委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 ほかにご意見等ございませんでしょうか。

柳澤委員 東京書籍の48ページと大修館書店の54ページでは、心についての学びということ  
で同様の題材が扱われていますが、紙面上のレイアウトに特徴があるかと思ひます。生徒  
たちにとってはどちらの方が親しみやすいと感じるか、お聞かせください。

教育長 この点については、小林選定委員長いかがでしょうか。

小林選定委員長 選定委員会では、レイアウトの差異についての指摘はございません  
でしたが、色の使い方に関しては、大修館書店は話題ごとに色を変えるなどの工夫が  
特徴的であり、色を多く使って生徒がテーマに親しみやすいように感じさせる点  
は、生徒たちにとっては非常に取り組みやすいのではないかという意見がありました。

教育長 柳澤委員、いかがでしょうか。

柳澤委員 ありがとうございます。よく分かりました。

教育長 ほか、ございませんか。

川村委員 今、選定委員長がお話してくださったことに加えてになりますが、東京書籍は  
すごく落ち着いたトーンでまとめているのに対し、大修館書店は本当にカラフルな色  
使いで生徒にアピールしているのを感じます。また、大修館書店は、写真やグラフも  
とても多く使われており、効

果的に配置することで、限られた時間の中で生徒が興味や関心を持って楽しく学べるための工夫がより強く感じられました。

教 育 長

ありがとうございます。ほかにご意見等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、保健体育の採択を行います。

いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、学習者にとっても指導者にとっても扱いやすく、一つの單元について見通しを持ちながら、学習できるという点において、各委員の意見を伺っておりますと「大修館書店」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。よって、保健体育は「大修館書店」とさせていただきます。続きまして、技術・家庭【技術分野】の採択についての審議に移ります。小林選定委員長、よろしくお願いいたします。

小林選定委員長

それでは、技術・家庭の技術分野について、3者の調査研究を行いましたので報告いたします。

まずは、東京書籍です。24、25 ページでは、技術分野の学びが実生活や今日的課題とどのように結びついているかを分かりやすく示し、学びと社会のつながりを感じながら学習に取り組めるよう工夫が感じ取れます。QR コードを見開きごとに設け、関連するコンテンツが表示されているため、端末の活用においてスムーズに取り扱えるよう工夫されていることも特徴の一つです。58、59 ページのように、目標からまとめまで流れを明確に示すことで、主体的な学びを実現しやすい工夫も見られます。

次に、教育図書です。別冊やワークシートを登載することでワークブックや資料集などの副教材の代わりになり、この教科書1冊で授業を完結できるよう工夫されている点が特徴的です。14 ページでは、見つめる、活かす、未来をどうするか構成でまとめられており、学習の流れが掴みやすいと感じます。29 ページでは法隆寺を取り上げて、伝統文化の技などを紹介する箇所があり、身近な題材から学びを深められる工夫があることは好印象です。

最後に、開隆堂出版です。101 ページにあるように、時事的な内容が豊富で、興味を持ちやすく、問題解決能力の育成を図る工夫が感じ取れます。また、104、105 ページにあるように、各領域の最後に

「interview」として、実際に社会で活躍する方のインタビューを掲載し、仕事の内容や、その仕事に携わるきっかけなどを知ることで、技術分野での学びが将来どのようにつながるかを見通せるよう工夫されてい

ます。そして、奇数ページの上部に様々な道具や部品を写真で見せることで、生徒の興味を引き付ける工夫があるのも特徴の一つです。

以上が技術・家庭の技術分野についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に技術・家庭の技術分野を担当いただきました川村委員からご報告をお願いします。

川 村 委 員

技術分野では、中学生になった生徒たちが新しい「技術」という科目に興味を持って取り組んでほしいという思いから、導入部分に特徴があるか、限られたページの中で技術の勉強を子どもたちが楽しめる工夫があるかという観点に基づいて研究しました。今回は、東京書籍と教育図書について報告します。

まず、東京書籍です。12、13 ページに、生徒の身の回りにある技術の工夫を載せています。写真がとても見やすく、情報が新しいため、生徒たちにとっては興味を引きやすいものではないかと感じています。また、14、15 ページにある「技術は夢を叶えるためにある」というキャッチフレーズのもと、技術は過去から未来につながっているものであるということを強く印象付ける構成となっていて、特徴的だと感じました。16、17 ページでは、技術の見方、考え方を漫画で示しており、また、22、23 ページの問題解決型の学習をイラストで表す工夫は、生徒の理解しやすさにつながると感じています。ほとんどのページに「技術の工夫」として「ひとことコラム」が掲載されているのは、ちょっとした豆知識として生徒はとても楽しく読めると思いますし、「TECHLAB」として技術の基礎技能をまとめたページが設けられていること、QR コードの配置も充実していることから、生徒は楽しく学びながら必要な情報にすぐにアクセスできる構成になっていると感じました。

続いて、教育図書です。巻頭では、「技術テクノロジーを見つけよう」というキャッチフレーズの中に「技術って何かな、思いつくことを書いてみよう」という問いかけがあり、導入部分から生徒が自身の思いや考えを綴る工夫がされています。また、巻末にも同様の連携した問いかけがあり、3年間の技術の学びを振り返る良い取組だと受け止めました。また、巻頭の次のページには小学校の学びを振り返るページがありますが、小学校で学んだ身近な話題からスタートして、技術で何を学ぶか説明している点が好印象です。30 ページのようにそれぞれの学びに興味・関心を引くように、生徒の吹きや対話の一コマ漫画が載っています。また、タイトルの下に示されているキーワードが本文中にも青い文字で示されていて、生徒に覚えてほしい重要語句を視覚的にも分かりやすくする丁寧な工夫だと感じています。全体的に、理解しやすい語句を使って、生徒にとって読みやすくまとめていると受け止めています。別冊のスキルアシストは、学校で扱う技術や技能を集約しているため、3

	年間を通して実習で便利に使えるものだと改めて感じています。 報告は以上です。
教 育 長	ありがとうございました。 それでは、各委員からのご意見やご質問はございませんでしょうか。
梅 田 委 員	技術の学習の中で、情報の扱いは非常に重要視されるべきだと考えています。学校で扱っていく段階で教科書に求めている内容があれば、教えていただけますでしょうか。
教 育 長	小林選定委員長、いかがでしょうか。
小林選定委員長	梅田委員お述べのとおり、現在、プログラミングも含め情報の取扱いは非常に重要になってくると考えています。技術分野だけでなく、他の教科との教科横断的な学びが必要になってくると考えております。 以上です。
教 育 長	梅田委員、いかがでしょうか。
梅 田 委 員	ありがとうございます。分かりました。
教 育 長	ほか、ご意見等ございませんか。
柳 澤 委 員	関連するのですが、今お話にあったプログラミングについては、実際に学校ではどのように取り組んでおられるのでしょうか。例えば、外部から講師の方をお招きするなどということはあるのでしょうか。
教 育 長	小林選定委員長、お願いします。
小林選定委員長	学校が外部からプログラミングの専門家を呼ぶことはなかなか少ないかと思うのですが、教育委員会から様々な教材提供を受けていますので、教育委員会と学校が連携して、子どもになるべく最新の教材を提供するような工夫をしております。
教 育 長	柳澤委員、いかがでしょうか。
柳 澤 委 員	ありがとうございました。現状がよく分かりました。
教 育 長	ほか、ございませんか。
新 井 委 員	情報は私の専門分野でもあるのですが、2者を比べて、インターネット

トについて取扱いが違うと感じた部分があります。

ネットワークの世界で技術革新の肝になったのは、まずネットワーク同士が世界中でつながって、どこからでもアクセスや情報公開ができるようになったことです。そのことについてより詳しく説明しているという点で、教育図書の方が非常に丁寧に説明できている印象があります。教育図書は、左の方にインターネットと青文字で書かれ、何をもってインターネットというかについて説明があるので、詳細だと思いました。

また、東京書籍の207ページと教育図書の181ページを比較すると、URLと呼ばれる「https://…」の構成例が教育図書の方が実態に合った内容で、「jp/index.html」まで書いてあって、それに対する解説もあり、より丁寧に専門的に記載されていると感じました。

そしてプログラミングについても、先ほど議論がありましたが、教育図書の方が詳しい説明ができていると感じました。

以上です。

教 育 長

ありがとうございました。

他にご意見等ございませんでしょうか。

それでは、技術・家庭の技術分野の採択を行います。

いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、今後の社会に必要な資質・能力を身に付けていくための単元の説明をより丁寧かつ詳細に記すなど、編集の工夫がされている「教育図書」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。それでは、技術・家庭の技術分野は「教育図書」とさせていただきます。続きまして、家庭分野の採択の審議に移ります。

小林選定委員長、よろしく申し上げます。

小林選定委員長

それでは技術・家庭の家庭分野について3者の調査研究を行いましたので、報告いたします。

まずは、東京書籍です。6ページにあるように、目標からまとめまでの流れが明確であるため、生徒自身が主体的に学習に取り組みやすいよう工夫されています。また、14、15ページのように、小学校の学びとのつながりを示し、現時点の学びがこれまでとこれからにどのようにつながっていくかを意識させる工夫も見られます。16ページでは、5つの領域について3年間の学びを考えさせる構成となっていることが特徴的です。

次に、教育図書です。106ページにはほぼ原寸大の写真やイメージし

やすいイラストなどを多用し、生徒の興味・関心につながる紙面構成をとっています。また、35 ページには、「先輩方に聞こう」というコーナーがあり、それぞれの分野で活躍している方の記載があり、興味・関心を引きやすいと感じます。さらに 220 ページのようなワークブックの代わりになるものや、235 ページのように資料集などの副教材の代わりになるものが用意されており、この教科書 1 冊で座学を完結できる構成になっています。

最後に、開隆堂出版です。6、7 ページに、家庭分野での主体的な学び方のイメージについて、写真や図を活用し分かりやすく示す工夫をしています。また、31 ページにはヤングケアラー、173 ページにはフードバンクなど、今日的なワードと家庭分野とのつながりを意識できる工夫がされています。中学生が地域や社会の一員として役割を果たす上で家庭分野において学んだことをどのように生活につなげていくかを示していると感じています。

以上が家庭分野についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に技術・家庭の家庭分野を担当いただきました川村委員からご報告をお願いします。

川 村 委 員

家庭分野においても技術分野と同様に、生徒たちが教科書を見て楽しめる工夫がされているかという観点で研究いたしました。「ひとことコラム」を載せてちょっとした情報が得られる工夫や、QR コードの効果的な配置、写真の見やすさなどを検討した結果、今回は東京書籍と開隆堂出版の 2 者について報告します。

まず東京書籍です。全体的に紙面が見やすく、写真も鮮明で好印象です。選定委員長の報告にもありましたが、14、15 ページでは小学校の振り返りをしながら中学校の教科書の中から興味を引かれるページを探し、理由を綴るアクションがあり、生徒が家庭分野の学習の中でそれぞれの関心を高める工夫がされていました。

また、16、17 ページのレーダーチャートは、今の時点の自分を可視化でき、各編の学習後の振り返りにもつながっていて、生徒が中学校での成長を感じられる工夫だと考えています。また、ページごとに QR コードがあり、コンテンツも豊富です。22 ページでは、中学生になった自分の 1 日の生活を振り返るということで、家族の中での自分の役割分担を考えられる面白い仕掛けであると受け止めています。

次に、開隆堂出版です。大きな特徴として、家族と家庭生活の領域がととても多いことが挙げられます。25 ページでは発展として、「家族・家庭を支える経済」についてグラフや表を載せながら可視化しており、より具体的なことを考えられる工夫を感じました。先ほどの選定委員長の報告にあったヤングケアラー以外にも、里親やトランスジェンダー、ウ

エルビーイングなど現代的な課題について幅広く掲載し、34 ページでは、他者を理解するためのロールプレイングを紹介しています。これらも、本者の特徴の一つであると考えています。246～255 ページでは、防災が生活の中の当たり前のこととしてしっかり記載されていて、生徒に深く考えさせるきっかけになると考えます。

報告は以上です。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、各委員からのご質問、ご意見等ございませんか。

梅 田 委 員

家庭分野の学習を通じた持続可能な社会の構築という視点で見ますと、開隆堂出版は SDGs につなげながら展開をしているかと思えますけれども、東京書籍は、生活の中から課題を見つけ出して、そこから実践を通して解決していく、いわば、探究的な学びを強く意識しているように感じますけれども、授業の展開という意味では、どちらのアプローチがより有効だと考えられますか。

教 育 長

川村委員、いかがでしょうか。

川 村 委 員

双方ともに、必要な考えだと受け止めておりますが、生徒が家庭分野の学習を通してより良い生活を創っていくための力を育てていくことを考えますと、東京書籍のような探究的な学び方を重視している方がより効果的ではないかと思っています。

教 育 長

梅田委員、いかがでしょうか。

梅 田 委 員

ありがとうございました。分かりました。

教 育 長

ほかにご意見等ございませんか。

柳 澤 委 員

特に家庭分野に限った話ではないかと思いますが、消費者教育についてです。少なくとも家庭分野ではどの発行者でも取り上げていると思いますが、社会科の公民的分野には入っていますか。教科間の連携がどうなっているのか教えてください。

教 育 長

その点、小林選定委員長からお伺いできますか。

小林選定委員長

消費者教育については、公民でももちろん取り上げておりますし、この家庭分野でも取り上げています。教科によって見方や考え方、ねらいが違うため、教科横断的にそれぞれが押さえている部分をリンクさせて生徒が学びを深められるようにすることが非常に大事だと考えておりま

す。

教 育 長 柳澤委員、いかがでしょうか。

柳 澤 委 員 ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思いました。

教 育 長 ほかにございませんか。

梅 田 委 員 今回の点に関連しますが、やはりそれぞれの教科同士で関連性を持たせることも必要だと思っています。特に今お話が出た消費者教育や、金融教育については、教科横断的な視点を持ちながら各教科間で調整し、学習を進めていくことが必要だと考えます。

教 育 長 ありがとうございます。私からも少し意見を申し上げますと、家庭分野の学習は、自分の生活にしっかり目を向け、そこから自分の生活の課題を見つけ、解決のためのプロセスを学んでいくものであると私は考えております。そういった意味から、東京書籍の方が学習に見通しを持ちやすく、問題を解決する道筋を付けやすいのではないかと感じております。

ほかにご意見等ございませんでしょうか。

それでは、技術・家庭の家庭分野の採択を行います。

いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員のご意見を総合的に考えますと「東京書籍」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。

各 委 員 異議なし。

教 育 長 異議なしと認めます。よって、技術・家庭の家庭分野は「東京書籍」とさせていただきます。続きまして、外国語の採択についての審議に移ります。小林選定委員長、よろしくお願いします。

小林選定委員長 それでは外国語について6者の調査研究を行いましたので、報告いたします。

まずは東京書籍です。1年61ページのように、ゴールを明確にし、スモールステップの工夫された言語活動をバランス良く積み上げながら、探究的・協働的に課題解決していく構成となっていることが特徴的です。また、62ページの配列・デザイン・紙面の大きさ・QRコードから音声資料や練習問題へのアクセスのしやすさなどの工夫も伺えます。そして紙面が大きく、直接書き込めるスペースも十分あると考えられます。

次に、開隆堂出版です。1年93ページにあるように、各学年に3回

ずつ学期末のまとめの活動が3年間を見通して設計されており、発達段階に応じたテーマの課題解決型学習に対話を通して協働的に取り組むことができる工夫が感じ取れます。また、28ページなどの各章末には「ステップ」として役立つ技能が小教材として配置されており、ゴールへ向けて生徒が主体的に取り組む構成となっています。1年31ページ下部にあるように、小学校で習った単語を示しており、小学校との接続を意識し、学びの連続性を可視化できるように工夫されています。

三省堂では、1年7～11ページにおいて、小学校で学んだ単語や表現を振り返ることができる紙面構成としており、小学校との学びのつながりを意識させる工夫があります。また、1年25ページにあるように、各単元の初めに設定したゴールを示し、3年間で段階的な学びを積み重ねていくことができるバランスの良い構成となっています。1年34、35ページにあるように、ほぼ全ページにQRコードが配置され音声や資料にアクセスできるような構成となっており、個別の学習でも活用できるよう編集が工夫されているところが特徴的です。

教育出版では、1年22、24、26ページを見比べて分かるように、単元で配列、デザインなどを統一することで、学習しやすいように配慮されています。1年129ページでは、SDGsに関連した題材など、幅広いテーマについて学び、考える機会を持つよう工夫されているとともに、1年143ページのように複数単元ごとに設定されたプロジェクトで、思考ツール等を活用するなどして協働的に取り組みながら、様々な言語活動を通して既習事項を確認させる構成となっていることが特徴的です。

光村図書出版では、1年26ページにおいて、学習活動をスモールステップで取り組ませる工夫があります。1年のユニット1からユニット3までは、各パートの学習目標となる表現を中心に文字で示し、イラストや音声で大まかな内容を掴むようにさせており、本文の全文については1年173ページで示すことで確認できるようにするなど、生徒が学習しやすくなるような工夫が見られます。1年28～35ページの単元においては、基本文を学んだ上で、「Goal」として設定された言語活動にスパイラルに取り組ませ、思考力・判断力・表現力を磨く構成であることが特徴的です。

新興出版社啓林館では、1年11ページの単元冒頭に「Unit Goal」、「Input」、「Output」を設定し、明確な目標のもと単元の学習を進めることで、「Goal」に設定された「Output」活動に取り組む構成となっています。1年113ページなどでは、現代社会における課題に対応する題材を通して生徒の興味・関心を引き付け、深い学びにつながる構成となっていると感じ取れます。一方、1年98、99ページでは、豊富な資料が掲載されていますが、文字の分量が多く、文字サイズが小さく感じるところが懸念されます。

以上が外国語についての報告です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に外国語を担当いただきました梅田委員からご報告をお願いします。

梅 田 委 員

どの発行者もカラーユニバーサルデザインやフォントの扱いに配慮し、デジタルコンテンツに大きな差異はありませんでした。また、各単元とも同じ学習活動の流れで構成された後に、学習した複数の技能を使って履修内容を定着させていく構成の仕方になっています。QRコードで音声や動画などにアクセスできるように編集してあることも、大きな差異はありませんでした。また、デジタル教科書についても、現在公開されている内容から見て、各者とも特に大きな違いは認められませんでした。

学習指導要領では、言語活動を繰り返し行って思考・判断・表現することが求められていることや、話すことの工夫、より対話的な言語活動をうまく構成している観点を重視し、東京書籍と三省堂の2者について研究を進めてきた内容について報告をさせていただきます。

まず、東京書籍についてです。1年生の単元に入る前に、「学習の流れをイメージしよう」「学習のポイントを確かめよう」「学習の見通しを立てよう」など、様々な教材の見方があることに触れて、学習の流れを分かりやすくしているところが特徴的です。また、2年生になったら、単元に入る前の投げかけが「もっと英語で伝え合おう」となり、教科書の構成と学習の中で見通しを立てるという構成になっています。そして3年生になると、「英語を使ってともに生きよう」となり、教科書の構成と学習の流れや学習の見通しを立てることなど、学年段階に応じて目的とするところが示されていることも特徴の一つです。本書では目的が明らかになっていて、学年によってステップアップされているとともに、それぞれの学年においてユニット0が設けられており、前の学年の振り返りから学習を始める構成となっています。2年の2ページでは、単元ごとに示されているテーマについて課題解決を求める内容になっていることや、巻末にはアクティビティに使える資料があることから、より多くの言語活動が行われることが期待されます。

続いて、三省堂です。1年生では、「出会いと発見を楽しもう」、2年生では「可能性を広げよう」、3年生では「思いを言葉で伝えよう」として、学年ごとで大きなテーマを示しており、学年段階でしっかりとステップを踏んでいるところが好印象です。1年の1ページでは、小学校からの橋渡しが設定されており、各タイトルに示してある内容は身近な問題や課題について考えて解決しようというもので、探究的な活動につながるものとして豊富に示されていると考えます。目次には基本文として文法が示されていることに加えて、色調が工夫されており、重要なことは比較的分かりやすいと思われます。また、1年の4、5ページでは、「しくみと学び方」が示されており、各章の初めにはゴールアクテ

ィビティが設定されていることから、学習の見通しを持って、それぞれの活動の持つ意味を掴んだ上で全体のレッスンに入っていける工夫があると感じました。また、AIによる発音チェック機能の活用もでき、その点については非常に面白いととらえております。

報告は以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、各委員からのご質問やご意見をお伺いしたいと思います。

川 村 委 員

探究的に進めていくということですが、実際の授業の中でアクティビティはどれくらい行われているか、教えていただけますか。

教 育 長

小林選定委員長、お願いします。

小林選定委員長

アクティビティはいろいろなプログラムが提供されていますが、全てを網羅するのは難しいので、軽重を付けて題材を生かしているという状況です。

教 育 長

川村委員、いかがでしょうか。

川 村 委 員

分かりました。ありがとうございます。

教 育 長

それでは、私からも質問させていただきます。各項には新出文法を含んだ基本文が掲載されていますが、生徒たちの個別最適な学びの観点からすると、2者の発行者には何か大きな違いがあるのでしょうか。

梅 田 委 員

生徒たちの個別最適な学びの観点からすると、シンプルで分かりやすい表記であることが大切であると思います。例えば、東京書籍の3年20ページと三省堂の2年100ページを比べると、東京書籍には記載の工夫が見られますが、シンプルで分かりやすいという観点では、三省堂の方がより良いと思われ、生徒たちが主体的に学ぶ手助けになっていると考えます。

教 育 長

分かりました。ありがとうございます。

ほかにご意見等ございませんでしょうか。

それでは、外国語の採択を行います。

いずれの発行者につきましても工夫が見られましたが、各委員のご意見を伺っておりますと、学習者にとっても指導者にとっても使いやすく、生徒がより分かりやすい題材に触れて資質・能力を育成することができるという点で評価が高かった「三省堂」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。それでは外国語は「三省堂」とさせていただきます。

続きまして、特別の教科道德の採択について審議に移ります。

小林選定委員長、よろしく願いいたします。

小林選定委員長

特別の教科道德について、7者の報告をさせていただきます。

東京書籍は1年2、3ページにありますように、1年間でどのようなことを学ぶのかを可視化し、学習をイメージしやすくする工夫をしています。また、どの学年においても、巻末に心情円を付録に付け、自らの心情を可視化できるように工夫されています。構成については、例えば1年38ページのように単元のテーマについて、スモールステップで言語活動をバランス良く積み上げながら、探究的・協働的に課題解決できるよう工夫されているのが特徴的です。

教育出版は1年2、3ページのように、項目ごとの色分けをして、分かりやすく表示しています。色覚の個人差を問わず見やすいカラーユニバーサルデザインを採用し、見やすさと分かりやすさを意識した作りになっています。また、同じく1年11ページのように、「学びの道しるべ」として、全ての題材に3つの発問を用意しており、心情にアプローチできるよう、構成されているのが特徴的です。

光村図書出版は、各学年の最初、6ページに「道德の学習を始めよう」というコーナーを設け、道德で学ぶポイントを生徒がとらえやすいよう示されているのが特徴的です。また、1年38ページの「問いを立てよう」、82ページの「なんだろう なんだろう」と問いかけの表現を設けることで、学習する内容を自分ごととして考えたり、深めたり、また、整理したりすることができるような工夫が特徴的です。

日本文教出版は、別冊で「道德ノート」が付いているのが特徴です。自分の生き方にプラスにしたいことなどを書くことで振り返り、整理できるように工夫しています。また、1年28ページのように、「いじめと向き合う」というユニットを構成し、多面的・多角的にいじめ問題にアプローチした教材となっています。

学研は1年2～5ページのように、いのち、いじめ、多様性、主体性、キャリア形成等、現在の子どもたちが学ぶべき教材が盛り込まれています。同じく1年8ページのように端末や思考ツールを活用し、考えを深めるための工夫をしているのも特徴的です。また、教科書全体を通じて、それぞれの教材の前に、主題名や学習指導要領の内容事項の文言を示さないことで、多様な考えや課題発見を自ら行えるよう工夫しているのも特徴の一つです。

あかつき教育図書につきましては、1年4～5ページのように、「いじめ問題」「情報モラル」「共に生きる社会」「キャリア」といった現代

的な課題が重点的に配置されているのが特徴的です。また、巻頭に学びの指針を具体的に示し、「いろいろなテーマから選ぶ」では、多面的・多角的に学ぶ内容として整理されているのも特徴の一つです。

日本教科書は、現代的な課題の取扱いが多く、生徒が興味・関心を持ちやすいよう編集されている印象を持ちます。また、1年156ページのように、ウェルビーイングカードの導入で、ウェルビーイングのために大事なことが書かれており、カードをきっかけに対話的な活動が活発になるよう工夫されているのが特徴的です。

報告は以上です。

教 育 長

ありがとうございました。

続きまして、主に特別の教科道徳を担当いただきました柳澤委員からご報告をよろしく願いいたします。

柳 澤 委 員

先ほどの選定委員長からの報告を受けて、7者について研究いたしました。各者ともそれぞれ工夫を凝らしていますが、特に特徴的であると思った東京書籍と光村図書出版の2者について報告したいと思います。

東京書籍は、どの学年も35個の教材をそれぞれ4つのテーマに分け、例えば1年192ページのようにテーマで振り返れるようになっているのが特徴です。また、SDGsと関連して考えることができる教材を各学年に配置しているのも特徴的です。選定委員長の報告にもありましたが、導入部分、例えば1年の2～3ページに1年間で学ぶことを示したり、巻末に心情円を付録として付けたりしています。これらの工夫は、学習を進める上で効果的であると思います。

次に、光村図書出版では、情報モラルやいじめについて特に強調されているように感じます。また、1年4、5ページのように、各学年で道徳のオリエンテーションのような場面を用意し、教科書を活用してどのように考えを深めていくかを丁寧に説明しているのが特徴的です。また、2年128ページのように、様々な文言を列挙して、その後のグループの討議につなげていくような構成は特徴的だと感じています。また、同様に3年26ページのように、まず考えることから始めてそののちに本文を読むという構成も新しい取組で、よく工夫されていると感じました。

以上です。

教 育 長

ありがとうございます。

それでは、各委員からご質問、ご意見はございませんでしょうか。

まず、私から選定委員長にお聞きしますが、学校現場において道徳の授業は現在どのように行われているのか、教えていただけたらと思います。

小林選定委員長	各学校、各学年がそれぞれ生徒の実態に合わせて、創意工夫し計画的に行われています。また、学級の担任だけでなく、学年の教員や学校の教員がローテーションで担当を決めながら授業を実施している学校もあります。
教 育 長	ありがとうございます。分かりました。 ほかにご意見等ございませんでしょうか。
柳 澤 委 員	今の選定委員長のご報告にありましたが、先生方の連携によって生徒がいろいろな先生から道徳の授業を受けることができるということは、ともに学ぶ、或いは話し合い、対話を重視するという形の道徳の一つの流れの中でも、大変良い取組だと思いました。ありがとうございます。
教 育 長	ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。
川 村 委 員	私は国語を担当しましたが、光村図書出版については、国語の教科書と同様の題材が道徳でも使われています。今、柳澤委員がおっしゃったように、いろいろな先生から様々な学びを生徒が受けるというのは、見方や考え方を考えて思考を深めていけるよう、教科横断的な使用ができるという意味合いでも、本市の学びに合ったものかなと感じました。 以上です。
教 育 長	ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。
梅 田 委 員	道徳における学びの記録は、ノートなどに積み重ねていくことが多いのではないかと思います。東京書籍は、学びの振り返りを巻末に学期ごとに用意していますが、光村図書出版の方は、1年間の振り返りに加えて、単元ごと、題材ごとに振り返りがあり、自分の考えを思い出しながら、自分自身の成長をまとめるという意味では良いのではないかと思います。
教 育 長	ありがとうございます。ほかはどうでしょうか。
柳 澤 委 員	選定委員長に質問しますが、先ほど私から報告したように、光村図書出版の本文に入る前に、考えを巡らせるという点についてはどのように感じになりますか。
教 育 長	選定委員長、いかがですか。

小林選定委員長	<p>まず生徒自身が思考から入り、その後それに関する文章や資料を見てさらに思考を深めていくという非常に強いねらいを感じますし、そのような導入の仕方というのは非常に有効だと感じております。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。  他にございませんでしょうか。  それでは、特別の教科道德の採択をしたいと思います。  いずれの発行者につきましても、工夫が見られましたが、各委員の意見を伺っておりますと、道德という教科を通して自分を見つめ、また、対話を通じて考えを深めていくという点から、「光村図書出版」が、奈良市の子どもたちにとってはふさわしいように思いますが、いかがでしょうか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>
教 育 長	<p>異議なしと認めます。それでは、特別の教科道德は「光村図書出版」とさせていただきます。  以上で全ての採択が終わりました。ここで再度、全ての教科、種目について確認をいたします。  国語につきましては「光村図書出版」、  書写につきましては「光村図書出版」、  社会【地理的分野】につきましては「日本文教出版」、  社会【歴史的分野】につきましては「日本文教出版」、  社会【公民的分野】につきましては「日本文教出版」、  社会【地図】につきましては「帝国書院」、  数学につきましては「新興出版社啓林館」、  理科につきましては「新興出版社啓林館」、  音楽【一般】につきましては「教育芸術社」、  音楽【器楽合奏】につきましては「教育芸術社」、  美術につきましては「光村図書出版」、  保健体育につきましては「大修館書店」、  技術・家庭【技術分野】につきましては「教育図書」、  技術・家庭【家庭分野】につきましては「東京書籍」、  外国語【英語】につきましては「三省堂」、  特別の教科道德につきましては「光村図書出版」となります。  以上でよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>
教 育 長	<p>それでは、本日採択した教科用図書について、奈良市教育委員会事務</p>

局を通じて教科用図書第1採択地区の採択として、奈良県教育委員会に報告いたします。ご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、「令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。

引き続き、一条高等学校附属中学校の教科用図書採択に移ります。それでは、議案第21号「令和7～10年度使用奈良市立一条高等学校附属中学校教科用図書の採択について」の審議を行います。まず、事務局より説明願います。

学校教育課長

一条高等学校附属中学校の教科用図書採択につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条に則り、他の市立中学校とは採択を別に行う必要がございます。

そのため、令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書採択の基本方針に「7. 一条高等学校附属中学校で使用する教科用図書の採択については、本基本方針を適用する」と定め、一条高等学校附属中学校からも複数の教員に研究員として参画していただき、研究を進めてまいりました。

以上でございます。

教 育 長

ありがとうございます。5月の定例教育委員会におきまして、一条高等学校附属中学校の教科用図書採択の手順について、市立中学校の教科用図書として採択されたものを、一条高等学校附属中学校で使用するということについて、適切であるかどうかという視点で審議していただくことを確認しております。

このことについて、小林選定委員長いかがですか。

小林選定委員長

事務局からもありましたが、令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書の採択に関わり、一条高等学校附属中学校の複数の教員が研究員として、他の市立中学校の教員とともに調査研究を進めてまいりました。その過程においては、一条高等学校附属中学校でのArts STEM教育や探究学習など、日々の先駆的な実践についても考慮に入れながら教科用図書の調査研究を行っています。

一条高等学校附属中学校での教育実践については、市立中学校全体に浸透させていくことで、奈良らしい教育を推進し、奈良市全体の教育の活性化を図ることにつながると考えます。そのためには、主たる教材である教科用図書については、附属中学校においても、他の市立中学校と共通の教科用図書を使用することが適切と考えます。

このことから、先ほど教育委員会にてご審議され、採択された「令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書」について、一条高等学校附属中学校でも使用してよろしいかご審議いただきたいと考えております。

教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま、小林選定委員長からもありましたが、先ほど採択した、「令和7～10年度使用奈良市立中学校教科用図書」について、一条高等学校附属中学校でも使用することについて、いかがでしょうか。</p>
各 委 員	<p>異議なし。</p>
教 育 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>以上をもちまして、「令和7～10年度使用奈良市立一条高等学校附属中学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。</p> <p>小林選定委員長につきましては長期にわたっての調査研究及び本日はその結果についてご報告いただき、本当にありがとうございました。また、教育委員の皆様におかれましても、教科用図書の採択に向けての研究及び長時間にわたってのご審議、ありがとうございました。</p> <p>これで本日の案件の審議を終了いたします。</p> <p>そのほかに何かご意見、ご連絡事項はございませんか。</p> <p>それでは、これもちまして、本日の臨時教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。</p>